SONY®

Digital Printing System

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、 火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Bluetooth°



© 2008 Sony Corporation

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全に は充分配慮して設計されています。しかし、まちがった 使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けが など人身事故につながることがあり、危険です。 事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6~9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般 の安全上の注意事項が記されています。 66ページの「本システムの性能を保持するために」も併 せてお読みください。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をする ことをおすすめします。点検の内容や費用については、 お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡くだ さい。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご 連絡ください。

万一、異常が起きたら

• 煙が出たら

- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは
- 1 電源を切ります。
- 2 電源コードを抜きます。
- 3 お買い上げ店またはソニーのサービス窓口までご相談 ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示 をしています。表示の内容をよく理解してから本 文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、破裂、発熱、 液漏れにより死亡や大けがにつながります。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電な どにより死亡や大けがなど人身事故につながるこ とがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。



お使いになる前に

各種 CD、TV 映像等著作権の対象となっている著作 物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを 複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的に または家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用す る場合に限って許されています。利用者自身が複製対 象物について著作権等を有しているか、あるいは複製 等について著作権者から許諾を受けている等の事情が 無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、 印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合は、 著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害 賠償等を請求されることとなりますので、そのような 利用方法は厳重にお控えください。また、本機におい ての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権 侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことは もちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖 像権を侵害することになりますので、そのような利用 方法も厳重にお控えください。 なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定してい

る場合がありますのでご注意ください。

本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発 メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で は TM、®マークは明記していません。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無 線設備として、認証を受けています。従って、本機を使 用するときに無線局の免許は必要ありません。 また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定 を受けています。 認証機器名は次のとおりです。

認証機器名:DKC-C300X、UP-DX100

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあ ります。

- 本機を分解/改造すること
- 本機の裏面にある証明番号を消すこと

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.400 GHz から 2.4835 GHz まで使用 できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っているこ とがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するた め、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意

本機の使用周波数は24 GHz帯です。この周波数帯で は電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他 の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許 を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特 定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の 無線局」と略す)が運用されています。

- 1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用 されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発 生した場合には、速やかに本機の使用場所を変える か、または機器の運用を停止(電波の発射を停止) してください。
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。 フリーダイヤル 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部の IP 電話からのご利用は 0466-31-2588 受付時間 月~金 9:00~18:00 (土・日・祝日および年末年始は除く)



この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用し ます。変調方式として FH-SS 変調方 式を採用し、与干渉距離は 20 m で す。

目次

小詈	告	6
	カメラ (DKC-C300X)、プリンター (UP-DX100)	
	共通	6
	カメラ(DKC-C300X)のみ	6
	Bluetooth®機能使用上の注意	7
∕∆注	意	7
	カメラ (DKC-C300X)、プリンター (UP-DX100)	
	共通	7
	プリンター (UP-DX100) のみ	8
	カメラ(DKC-C300X)のみ	8
電池(こついての安全上のご注意	.9
	万一、異常が起きたら	9
本シン	ステムの特長 ⁻	10
	主な構成	10
	操作の流れ	11
	便利な機能	11
	フラッシュモードと撮影環境例	12
	フラッシュモードの設定パラメーター	13
各部(の名称と働き	14
	カメラ	.14
	プリンター	17
付属	品について	19
	付属品を確認する	.19
準備		19
	カメラの準備をする	19
	プリンターの進備をする	
		21
	電源を入れる	.21 .24
操作	電源を入れる (撮影とプリント)	.21 .24 26
操作	電源を入れる (撮影とプリント)	.21 .24 26 .26
操作	電源を入れる (撮影とプリント)	.21 .24 26 .26
操作	電源を入れる (撮影とプリント)	.21 .24 26 .26
操作	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を 	.21 .24 26 .26
操作	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする 	.21 .24 .26 .26 .28
操作	電源を入れる (撮影とプリント)	21 24 26 26 28 29
操作	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする プリンターのメモリーに保存した 画像を再プリントする (COPY PRINT) 	21 24 26 26 28 29 30
操作	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする プリンターのメモリーに保存した 画像を再プリントする (COPY PRINT) 撮影した画像を液晶画面で見る 	21 24 26 28 29 30 30
操作	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする プリンターのメモリーに保存した 画像を再プリントする (COPY PRINT) 撮影した画像を液晶画面で見る 画像を削除する 	21 24 26 28 29 30 30 30
操作	電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする プリンターのメモリーに保存した 画像を再プリントする (COPY PRINT) 撮影した画像を液晶画面で見る 画像を削除する	21 24 26 28 29 30 30 31 33
操作 設定	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする プリンターのメモリーに保存した 	.21 .24 .26 .28 .29 .30 .30 .31 .33 .33
操作 設定	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする プリンターのメモリーに保存した 	.21 .24 .26 .28 .29 .30 .31 .33 .33 .33 .33
操作 設定	 電源を入れる (撮影とプリント) 撮影する 今撮影したばかりの画像をプリントする (オートレビューからプリント) カメラの内蔵メモリーに保存されている画像を プリントする プリントする プリントする (COPY PRINT) 撮影した画像を液晶画面で見る 画像を削除する 撮影メニューを表示する モットアップメニューを表示する 	.21 .24 26 .26 .28 .29 .30 .30 .31 33 .33 .33 .34

メニュー	35
メニュー項目の機能	35
記録解像度を設定する	
自動消去モードを設定する	
フラッシュモードを選択する	40
絞りを設定する	40
シャッター速度を設定する	41
ホワイトバランスを調整する	41
露出を補正する	42
撮影した画像の情報を見る	42
予約プリント機能を使用する	43
プリント時に表示するフレームを設定する	44
追加フレームを作成する	45
型抜きプリント機能を使用する	47
オートパワーセーブ(節電)を設定する	
サウンドを選択する	49
液晶画面の表示言語を選択する	49
設定を出荷時の設定に戻す	50
ファームウェアのバージョンを表示する	50
カメラのメニューをロックする	51
プリントの画質調整	51
画質を調整する	51
画質調整パラメーターの解説	52
ガイドプリント機能	55
プリント時間	57
プリント位置を調整する(PRINT OFFSET).	58
Bluetooth 機能の設定	58
Bluetooth 機能について	58
「Basic Imaging Profile」について	58
Bluetooth アドレスについて	58
パスキー認証について	59
Bluetooth 接続	59
カメラの Bluetooth 機能の接続状態を確認する	60
プリンターの Bluetooth アドレスを確認する	60
パスキーを設定する	60
モジュール電源を設定する	61
プリンターに番号を付ける	62
プリンターの接続履歴を確認する	63
プリンターを追加/登録する	63
プリンターを削除する	65
複数のブリンターの操作	66
本システムの性能を保持するために	66
カメフ	66
フリンター	67
お手人れ	67
王な仕様	67

故障とお考えになる前に	69
カメラ	
撮影	
カメラの液晶画面	
プリント操作	
撮影画像	
プリンター	
つまった紙を取り除く	
プリンター内部のクリーニング	
エラーメッセージ	
付録	74
プリントレイアウト一覧	
索引	75



下記の注意を守らないと、**火災** や**感電**により**死亡**や**大けが**に つながることがあります。

カメラ (DKC-C300X)、プリン ター (UP-DX100) 共通



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原 因となることがあります。

- ・設置時に、製品と壁やラック、棚などの 間に、はさみ込まない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを 持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ 店またはソニーのサービス窓口に交換をご 依頼ください。



雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿 気、ほこりの多い場所には設置しな い

上記のような場所や、この取扱説明書に記 されている使用条件以外の環境に設置する と、火災や感電の原因となることがありま す。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となる ことがあります。万一、水や異物が入った ときは、すぐに電源を切り、電源コードや 接続コードを抜いて、お買い上げ店または ソニーのサービス窓口にご相談ください。



内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビ ネットや裏蓋などを開けたり改造したりす ると、火災や感電の原因となることがあり ます。内部の調整や設定、点検、修理は、 お買い上げ店またはソニーのサービス窓口 にご依頼ください。



電源コードのプラグ及びコネクター は突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、 火災や感電の原因になります。

カメラ(DKC-C300X)のみ



カメラを人の目(特に乳幼児)に近 づけて撮影しない

目の近くで FLASH を発光させると視力障 害を起こす原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは、ご注意くだ さい。



指定の電源で使用する

取扱説明書に記されている AC パワーアダ プターまたは電池でお使いください。指定 以外の製品のご使用は、火災の原因となり ます。



カメラを太陽に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、 火災の原因となる危険があります。

Bluetooth®機能使用上の注意



心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を 与えるおそれがあります。



病院などの医療機関内、医療用電気 機器の近くでは Bluetooth 機能を 使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の 原因となるおそれがあります。



航空機内では Bluetooth 機能を使 用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の 原因となるおそれがあります。



本製品を使用中に他の機器に電波障 害などが発生した場合は、 Bluetooth 機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の 原因となるおそれがあります。



下記の注意を守らないと、けが をしたり周辺の物品に損害を与 えることがあります。

カメラ (DKC-C300X)、プリン ター(UP-DX100)共通



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置す ると、倒れたり落ちたりしてけがの原因と なることがあります。また、設置・取り付 け場所の強度を充分にお確かめください。



付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感 電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、 ぬれ手禁止 感電の原因となることがあります。



接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、 電源を切ってください。感電や故障の原因 となることがあります。



お手入れの際は、電源を切って電源 プラグを抜く

スラグをコン セントから抜く電源を接続したままお手入れをすると、感 電の原因となることがあります。



移動の際は電源コードや接続コード を抜く

指示

コード類を接続したまま本機を移動させる と、コードに傷がついて、火災や感電の原 因となることがあります。



分解や改造をしない 分解や改造をすると、火災や感電、けがの

原因となることがあります。 内部の点検や修理は、お買い上げ店または ソニーのサービス窓口にご相談ください。



コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っか けると本機の落下や転倒などによりけがの 原因となることがあります。 充分注意して接続・配置してください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラ グに触れない

接触禁止

落雷すると、誘電雷により、火災や感電の 原因になります。



製品の上に乗らない、重いものを載 せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けが の原因となることがあります。

プリンター(UP-DX100)のみ



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災 や故障の原因となることがあります。風通 しをよくするために次の項目をお守りくだ さい。

- 壁から 10 cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の 上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



本体内部の部品をさわらない

本体内部の機構部品をさわるとけがの原因 となることがあります。また、高温になっ た部品にさわると、火傷の原因となること があります。



プリントカートリッジの装着口の内 部に手を入れない

中にあるプリントヘッドが熱くなっている 場合があり、やけどの原因となることがあ ります。

カメラ(DKC-C300X)のみ



三脚・雲台を確実に固定する

三脚・雲台を確実に固定せずにカメラから 離れると、不意にカメラが動いてけがをす ることがあります。



長時間機器を使用しないときは電池 を抜いておく

電池の発熱や液漏れなどにより、火災、け が、やけどや周囲を汚す原因となります。

電池についての安全上の ご注意

ここでは本機での使用が可能なニッケル水素電池につい ての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

煙がでたら

- ●機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャー ジャーの電源プラグを抜く。
- 2 ソニーのサービス担当者に連絡する。
- 電池の液が目に入ったら

すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。

・ 電池の液が皮膚や衣服に付いたら

すぐにきれいな水で洗い流す。

バッテリー収納部内で液が漏れたら

よくふきとってから、新しい電池を入れる。



- 接点部や ⊕ 極と ⊖ 極をショート(短絡)
 - させたり、金属製のものと一緒に携帯・ 保管をしない。



高温

下記の注意事項を守らないと、破 裂・発熱・液漏れにより、死亡や大 けがなどの人身事故になることがあ ります。

- 所定の充電時間を超えても充電が完了し ない場合は、充電をやめる。
 - 電池使用中や充電、保管時に異臭がした り、発熱・液漏れ・変色・変形などが あったときは、すぐに使用や充電をやめ 2.



下記の注意事項を守らないと、破 裂・液漏れにより、けがをしたり周 辺の物品に損害を与えたりすること があります。

- 投げつけない。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。



高温

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。 不要になったニッケル水素電池は、金属部 にセロハンテープなどの絶縁テープを貼っ てリサイクル協力店へお持ちください。 充電式電池の収集・リサイクルおよびリサ イクル協力店については、有限責任中間法 人 JRBC ホームページ <u>http://www.jbrc.net/</u> hp/contents/index.html を参照してくださ 6.1

本システムの特長

本システムは、証明書写真などの撮影用に、デジタルカ メラで画像を撮影し、その画像データを高画質、高解像 度(403 dpi)、フルカラーあるいは白黒でプリントするた めのデジタルプリントシステムです。 プリントできる用紙は UPC-X46 シリーズと UPC-X34 シ リーズです。

本システムでは Bluetooth 機能を採用し、ケーブルなしで カメラとプリンター間の通信を可能にしています。

主な構成

カメラで撮影した画像を、ケーブルを使わずにプリンターに転送することができます。

◆ Bluetooth 機能については、「Bluetooth 機能の設定」(58 ページ)をご覧ください。



写真の用途に合わせて、最適な大きさの顔写真をプリントできます。顔写真の大きさを自動で決定したり、液晶画面に表示 されるフレームを見ながら手動で微調整できます。

撮影した顔写真は、証明書の種類や使用するプリントパックのサイズに応じて、さまざまなレイアウトでプリントできま す。



ご注意

撮影した画像データは、カメラからプリンター以外の外部機器に転送することはできません。

操作の流れ

本システムでは、撮影した画像の顔の部分の大きさを、証明写真フレームの規格に適した大きさに調整してプリントできま す。



便利な機能

追加フレーム

あらかじめ用意されていない証明写真フレームや、用意されていても修正を加えたい証明写真フレームは、追加フレームと して5つまで登録することが可能です。

型抜きプリント

型抜き機能をオンにすると、各辺3mm 広めにプリントされるので、型抜きを使用するときに便利です。

予約プリント

予約プリント機能をオンにすると、プリント写真を複数選択してまとめてプリントすることができます。

カラー調整・白黒調整

本システムではプリント画のカラーおよび白黒の調整をすべてカメラ側で設定できるようになりました。調整結果はガイド プリントですぐに確認することができます。

フラッシュモードと撮影環境例

本機には3種類のフラッシュモードがあります。 カメラと被写体の距離Lは、1.8 mを目安として、設定し たフレーム (ガイドライン) に顔の大きさが合うように 設置してください。顔の大きさはズームで微調整できま す。

内蔵フラッシュ自動発光モード(Pf)

内蔵フラッシュは、約1.8mはなれた被写体に最適な光量 で発光します。

1.8 m より近い場合は ▲▼ ボタンで EV 補正値をマイナス 側に、遠い場合はプラス側にします。必ず試し撮りをし て確認してください。屋内で内蔵フラッシュを光源とし、 光同調式フラッシュを影消しフラッシュとして証明写真 を撮影するのに適しています。



手動露出、内蔵フラッシュ強度設定モード (M4)

絞りとシャッター速度をマニュアルで設定し、内蔵フ ラッシュの発光強度を7段階(△0.5EV)に切り換えて発 光させます。この内蔵フラッシュ光をトリガーとして外 部の光同調式フラッシュをメイン光源として撮影するの に適しています。



手動露出、内蔵フラッシュ発光禁止モード (M&))

絞りとシャッター速度をマニュアルで設定し、内蔵フ ラッシュは発光しない露出モードです。 内蔵フラッシュは発光しません。屋内で、スタジオライ ト、ビデオライト、蛍光灯などの定常的な光源のもとで 撮影するのに適しています。



フラッシュモードの設定パラメーター

フラッシュモードは工場出荷時は[プログラム]に設定されていますが、必要に応じてメニュー操作で変更できます。フ ラッシュモードの設定によって、設定できる撮影条件が下表のようになります。

フラッシュモード	フラッシュ制御	絞り	シャッター速度	ホワイトバランス (WB)	露出補正
プリ発光なし	ズームおよび露出に応じて	固定	固定	[プログラム]	$-2.0\mathrm{EV} \sim \underline{OEV} \sim +2.0\mathrm{EV}$
自動発光制御:	プログラム制御	(F4.7)	(1/250)		(1/4EV 刻み)
<u>P</u> \$					
プリ発光なし	7 ステップ	F4.7	1/250	<u>[プログラム]</u> 、	$-1.0 \text{EV} \sim \underline{\text{OEV}} \sim +2.0 \text{EV}$
強制発光:	(100/70/50/35/25/18/12%)	(F4.7/F5.6)	$(1/2 \sim 1/1000[s])$	$3000 \sim 7000 \mathrm{K}$	(1/4EV 刻み)
M¥	プリ発光なし			または [ワンプッシュ]	
発光禁止:	発光なし	F4.7	1/250	<u>[プログラム]</u> 、	$-1.0\mathrm{EV} \sim \underline{OEV} \sim +2.0\mathrm{EV}$
M3		(F4.7/F5.6)	$(1/2 \sim 1/1000[s])$	$3000 \sim 7000 \mathrm{K}$	(1/4EV 刻み)
				または [ワンプッシュ]	

:工場出荷時の設定

撮影時の F 値の影響について

ズーム操作によりF値が変化しても、撮影される画像の明るさは変化しないように、フラッシュの発光強度や ISO 感度が 自動調整されます。

各部の名称と働き()内の数字は、参照ページを示します。

カメラ

前面



1 フラッシュ(12、13)

[フラッシュモード]の設定に従って発光します。

2 三脚取り付けネジ穴(21)

カメラを三脚に取り付けるとき使用します。

3 レンズ(f=12.5~25.0 mm、F値(開放): F-4.7 (W端)~F-5.5(T端))

光学2倍ズーム付き自動焦点レンズです。

4 レンズフィルター取り付けネジ

市販のレンズフィルター (φ52)を装着できます。

5 レリーズボタン (26)

押すと、カメラの液晶画面に表示されている画像をカメ ラの内蔵メモリーに記録します。 ボタンを半押しにすると自動焦点機能が働き、完全に押 し切るとシャッターが切れます。撮影した画像は JPEG 方 式で圧縮されて保存されます。 後面



1 液晶画面

撮影時にレンズがとらえた画像を表示したり、撮影した 画像を再生したり、メニューを表示します。 Bluetooth 機能が働いているときは€アイコンが表示され ます。

2 m/COLOR/B&W (削除/カラー/白黒) ボタン (28、31)

削除

オートレビュー画面の表示中または画像の再生中に、液 晶画面に表示されている画像を削除します。

カラー/白黒

プリントプレビュー画面の表示中に、プリント画をカ ラーまたは白黒に切り替えます。

3 AUTO FRAME(自動)ボタン(28、29)

アジャスト画面の表示中にこのボタンを押すと、フレームに合わせて画像の顔の部分の大きさが自動的に調整されます。

4 PRINTER (プリンター) ボタン (66)

2台以上のプリンターを使用するときに、プリンターを選 択します。

5 スタンバイランプ

カメラのステータスを表します。

モードスイッチが 🗖 のとき

ランプの動作	意味
点灯(オレンジ)	正常に動作中です。
点滅(オレンジ)	カメラの起動中および Bluetooth 認証中 です。または、[オート消去] がオフに 設定されていて、内蔵メモリーの空き がないためにこれ以上画像が保存でき ない状態です。
高速点滅(オレンジ)	撮影準備中、フラッシュ充電中、デー タ記録中のいずれかの状態です。
点滅 (赤)	電池使用時に、電池の残量が少なく なっています。
高速点滅 (赤)	カメラのシャットダウン中です。
点灯 (赤)	カメラの故障です。お買い上げ店、ま たはソニーのサービス窓口にご相談く ださい。

モードスイッチが のとき

ランプの動作	意味
点灯 (緑)	正常に動作中です。
点滅 (緑)	カメラの起動中および Bluetooth 認証中
	です。
点滅 (赤)	電池使用時に、電池の残量が少なく
	なっています。
高速点滅 (赤)	カメラのシャットダウン中です。
点灯 (赤)	カメラの故障です。お買い上げ店、ま
	たはソニーのサービス窓口にご相談く
	ださい。

6 オン/スタンバイスイッチ (24)

カメラの電源をオン/スタンバイします。

7 ズームレバー(26、28、29)

モードスイッチが 🗖 のとき

画角のとりかたを調整します。証明用写真は多くの場合、
 画面上の顔のサイズが規定されています。ズーム機能を
 使うと、カメラの位置を固定したまま顔のサイズを調整
 することができます。最大倍率は2倍です。
 T:ズーム画面にする。
 ₩:広角画面にする。

モードスイッチが ▶のとき

画像の再生中に、再生画像の1コマ表示と9コマ表示を切り換えます。
 T:9コマ表示を1コマ表示に切り換えます。
 W:1コマ表示と9コマ表示を交互に切り換えます。

アジャスト画面の表示中

表示されている画像を拡大または縮小します。 T(①):画像を拡大します。 W(〇):拡大した画像を縮小します。

8 PRINT (プリント) ボタン (28)

モードスイッチが

、またはオートレビューのとき、液 晶画面に表示されている画像をプリントします。1度押す とプリントプレビュー画面が表示され、もう一度押すと 画像データがプリンターに転送され、プリントされます。

|9| コントロールボタン ◀ ▲ ▼ ▶

モードスイッチが 🗖 のとき

コントロールボタンの▲または▼を押して露出補正値 (EV 値)を変更します。

モードスイッチが のとき

コントロールボタンの ◀ または ▶ を押して液晶画面に表 示する再生画像を選択します。

アジャスト画面の表示中

表示されている画像を上下左右に移動します。

メニュー操作時

メニュー項目の選択、設定に使用します。

10 ENTER ボタン

操作を決定するときに押します。 オートレビュー画面の表示中や画像の再生中は、アジャ スト画面に切り替えます。 アジャスト画面の表示中は、画像の大きさの調整結果を 反映して元の画面に戻ります。

|**11**| MENU(メニュー)ボタン(32、34)

メニュー画面を表示するときに押します。また、メ ニュー画面から通常画面に戻るときや、アジャスト画面 からオートレビュー画面に戻るときに押します。

ご注意

MENU ボタンを押してメニュー画面から通常画面に戻ったりアジャスト画面からオートレビュー画面に戻った場合、調整結果は反映されません。

 12 モードスイッチ(24、30) 次の2つのモードを切り替えます。
 □:撮影モード
 ▷:再生モード

[13] 電池挿入ぶた (20) 別売のソニー製単3形ニッケル水素充電池(Type NH-AA、最大 2700 mAh)を4本挿入します。

14 外部端子カバー (19、20) ACパワーアダプターや外部フラッシュを接続するときに 開きます。

[**15**] DC IN 端子(19) AC パワーアダプターを接続します。

[16] FLASH (フラッシュ) 端子 外部フラッシュを使用するとき、フラッシュのコードを 接続します。

X 接点対応のフラッシュをフラッシュ同調コードを使っ て接続すると、接続したフラッシュがシャッターに同期 して発光します。

プリンター

前面



1 (*t*) (

押すとランプが点灯し、プリンターに電源が供給されま す。もう一度押すとランプが消灯し、プリンターはスタ ンバイ状態になります。

2 ペーパートレイスロット (22)

ペーパートレイを装着します。

3 操作画面

電源を入れると、操作状況やメニュー項目が表示されま す。

4 MENU ボタン (38)

メニュー画面を表示するとき、メニューの変更をキャン セルするときに押します。

5 EXEC(実行)ボタン(30、58)

メニュー操作時、選択したメニュー項目を実行するとき、 リボンカートリッジを交換した後に押します。

6 コントロールボタン (30、58)

メニュー操作時、メニュー項目の選択、設定に使用しま す。

7 ランプ

Bluetooth ランプ: Bluetooth 機能が働いているとき に点灯します。

PRINT ランプ:プリント中点灯し、画像データを受信中 は点滅します。

- ・プランプ:ペーパーまたはカートリッジを使い切った とき、およびペーパーとカートリッジのサイズが異な るときに点灯します。
- ALARM ランプ:紙づまりなど、エラーが起きたときに点 灯します。
- 8 プリントカートリッジカバー (23) プリントカートリッジを装着または取り出すときに PUSH OPEN の所を押して開けます。
- 9 プリントカートリッジスロット (23) プリントカートリッジを装着します。
- [10] カートリッジ取り出しレバー (23) プリントカートリッジを取り出すとき、上に押します。

ご注意

プリント中はこのレバーは機能しません。

後面



1 紙づまり除去カバー(71)

紙づまりが起きたとき、このカバーをはずして、つまっ た紙を取り除きます。

2 ~AC IN (電源入力) 端子 (24)

電源コードを使って AC 電源に接続します。

3 USB 端子

本システムでは使用しません。

付属品について

付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか 確認してください。 UPC-X46 シリーズ用ペーパートレイ (1) UPC-X34 シリーズ用ペーパートレイ (1) トレイカバー (1) 電源コード (2) AC パワーアダプター UPA-AC05 (1) クリーニングカセット (1) 保証書 (1) 取扱説明書 (一式) Quick Reference (クイックリファレンス) (1) 準備

カメラの準備をする

▲ 外部端子カバーをスライドさせて開ける。



2 付属の AC パワーアダプター UPA-AC05 をカメラの DC IN 端子に接続します。次に AC パワーアダプ ターを AC 電源に接続します。



ご注意

ACパワーアダプターはコンセントの近くでお使いく ださい。本機をご使用中に不具合を生じたときは、 すぐにコンセントから抜き、電源を遮断してくださ い。 **3** 外部端子カバーを閉め、カメラに押し付けながら確 実にロックするまでスライドさせる。



電池を入れて使用する場合

本システムのカメラは、市販の単3形ニッケル水素充電 池4本で使用できます。この場合は次の手順で電池をカ メラの挿入します。

ご注意

ソニー製 NH-AA (最大 2700 mAh) をご使用ください。

▲ カメラ背面の電池挿入ぶたをスライドさせて開ける。



2 単3形電池4本を挿入する。



 ふたを閉め、カメラに押し付けながら確実にロック するまでスライドさせる。



電源状態の表示

AC 電源で使用する場合

カメラの液晶画面左上に-C=アイコンが表示されます。

電池で使用する場合

カメラの液晶画面左上に以下のアイコンが表示されます。 電池の交換時期の目安としてご利用ください。

表示	残量
	電池の残量は充分にあります。
	電池の残量が少なくなっていますが、カメラ の使用は可能です。AC パワーアダプターか電 池を用意してください。
	電池残量が少なくなっています。すぐにカメ ラの使用ができなくなります。ACパワーアダ プターを使用するか、電池を交換してくださ い。
(点滅)	電池残量がなくなりました。カメラの使用は できません。

ご注意

- 電池が入ったカメラにACパワーアダプターを接続しても、電池の充電は行われません。電池の充電には、専用のバッテリーチャージャーを使用してください。
- 上記の電池残量表示アイコンは、ソニー製ニッケル水素 充電池(typ. 2000 mAh / typ. 2500 mAh)に最適化さ れています。他の電池をご使用の際には、突然電池残量 がなくなることがありますので、ご注意ください。

三脚へ取り付けるには

カメラ底面の三脚取り付けネジ穴を使って、カメラを三 脚に取り付けることができます。

ご注意

取り付けネジは適度な力で締めてください。締めかたが ゆるいと落下することがあります。また、無理に締める とネジ部が破損することがあります。まっすぐに入って いることを確認して、確実に締めてください。



プリンターの準備をする

初めてプリンターをお使いになる場合は、プリントカー トリッジとペーパートレイを下記の手順で取り付けてか らお使いください。これらの操作は、日常のプリント操 作で毎回する準備ではありません。必要に応じて行って ください。

プリントパックを用意する

プリントするためには、別売りの専用プリントパック (UPC-X46 シリーズまたは UPC-X34 シリーズ) が必要で す。プリントパックは、プリントペーパーとプリント カートリッジがセットになっています。

ご注意

- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常な プリント結果が得られず、故障の原因になります。
- 必ず専用のプリントパックをお使いください。
- プリントペーパーのサイズに合ったプリントカートリッジをセットでお使いください。異なる組み合わせでお使いになると、正常なプリント結果が得られず、紙づまりや故障の原因になります。
- 一度使用したプリントペーパーでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならず、 故障の原因になります。
- プリントペーパーのプリント面や、プリントカートリッジのインクに触ったり、温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存や放置は避けてください。プリント面やインクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- プリントカートリッジとプリントペーパーを使用途中で 本体から取り出して保存する場合は、入っていた袋など に入れて保存してください。

プリントペーパーを入れるには

- マリントペーパー
- プリントペーパーをペーパートレイに入れる。

プリントペーパーはよくさばいてから、プリント面 (何も印刷されていない面)を上にして、保護シート の矢印とトレイの矢印の向きを合わせて入れてくだ さい。UPC-X46 シリーズの場合は 25 枚、UPC-X34 シリーズの場合は 30 枚入れることができます。

2 プリントペーパーの上の保護シートを取り除く。



ご注意

保護シートは保管しておいてください。プリンター 内部のクリーニングに使用します。

3 ペーパートレイをカチッと音がするまで差し込む。



ご注意

印刷面に触れないようにしてください。ほこりや指 紋がつくと印刷品質が劣化します。

プリントペーパーをセットするときのご注意

- UPC-X46 シリーズのペーパーは大きいペーパートレイ に、UPC-X34 シリーズのペーパーは小さいペーパート レイに入れてください。ペーパーとトレイのサイズが合 わないと、紙づまりの原因になることがあります。
- プリント中は、ペーパートレイの抜き差しはしないでく ださい。
- プリントペーパーが給紙されないときは、□ ペランプが 点灯し、メッセージが表示されます。いったんプリン ターからトレイを抜いてプリントペーパーがつまってい ないか確認してください。
- プリントペーパーをトレイに追加する場合は、総量が UPC-X46 シリーズの場合は25枚、UPC-X34 シリーズ の場合は30枚を超えないようにしてください。また、 違う種類のプリントペーパーを重ねて入れないようにし てください。紙づまりの原因になります。
- プリントする前にプリントペーパーに字を書いたり、 ワープロで印字したりしないでください。プリントでき ないことがあります。また、プリント後にプリント画へ 文字を記入する場合は、油性ペンをお使いください。プ リント画にはワープロなどでの印字はできません。
- プリントする前にプリントペーパーに切手やシールを貼らないでください。
- 一度使用したプリントペーパーでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならず、 故障の原因になります。
- プリントする前にプリントペーパーを折ったり曲げたり しないでください。故障の原因になります。
- プリント後、排紙された用紙をペーパートレイに5枚を 超えてためないでください。紙づまりの原因となります。

保存上のご注意

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日 光の当たるところでの保存は避けてください。
- プリント面どうしを重ね合わせて保存しないでください。また、プリント画を塩化ビニールや、可塑材が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変色または脱色することがあります。
- 使用途中で本体から取り出して長期保存する場合は、プリントペーパーの入っていた袋に入れて保存してください。

トレイカバーを取り付けるには

使用しないペーパートレイには、付属のトレイカバーを 取り付けて保管してください。プリントペーパーにごみ やほこりが着くのを防ぐことができます。トレイカバー は、UPC-X46 シリーズ用、UPC-X34 シリーズ用どちらの ペーパートレイにも取り付けることができます。



プリントカートリッジを取り付けるには

1 プリントカートリッジカバー上部のPUSH OPENの部 分を押して、カバーを開ける。



 プリントカートリッジをプリントカートリッジス ロットに入れ、カチッとロックするまで差し込む。



- 3 プリントカートリッジカバーを閉じる。
- **4** EXEC ボタンを押す。

プリントカートリッジを交換するには

プリントカートリッジを使い切ると、 プクランプが点灯 し、操作画面にエラーメッセージが表示されます。プリ ントカートリッジを次の手順で交換してください。

- プリントカートリッジカバー上部のPUSH OPENの部 分を押して、カバーを開ける。
- 2 カートリッジ取り出しレバーを押し上げる。



プリントカートリッジが出てくるので、抜き取りま す。

- **3** 新しいプリントカートリッジを入れ、プリントカー トリッジカバーを閉じる。
- **4** EXEC ボタンを押す。

ご注意

熱くなっていることがありますので、カートリッジカバーの内部に手を入れないでください。



- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常な プリント結果が得られず、故障の原因になります。
- プリントカートリッジがうまく入らないときは、いった んプリントカートリッジを取り出してから、入れ直して ください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、 カートリッジのスプールを矢印の方向に押しながら回し てリボンのたるみをとってください。



- 本機の電源を入れたときにプリントカートリッジが入っていない場合、□ ペランプが点灯します。
- プリントカートリッジのインクに触ったり、ほこりの多いところに置かないでください。
 インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- プリント中にプリントカートリッジは抜き差ししないで ください。

保存上のご注意

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用途中で本体から取り出して保存する場合は、プリントカートリッジの入っていた袋などに入れて保存してください。

プリンターを AC 電源に接続するには

電源コードを使ってプリンターを電源コンセントに接続 します。



電源を入れる



 プリンターのオン/スタンバイボタンを押して電源 を入れる。

操作画面に Ready BT RSSI [----] が表示されるのを 確認します。

- 2 カメラのモードスイッチを にする。
- 3 カメラのオン/スタンバイスイッチを (オン) にする。

初めてカメラの電源を入れたときは、初期設定をす る画面が表示されます。

◆ 初期設定について詳しくは「初めて起動したときは(初 期設定)」(25ページ)をご覧ください。

カメラがプリンターを探し始め、液晶画面に「探索 中」が表示されます。プリンターが見つかり接続が 成功すると、表示は「探索成功」に変わり、プリン ター名と Bluetooth アドレスが黒く表示されます。 黒い表示にならず、グレー表示のままの場合はプリ ンターとカメラをスタンバイモードに切り替えてか ら、手順1~3の操作をやり直してください。 4 カメラのボタンをどれか押し、Bluetooth 接続画面を 消す。

画像が表示されて撮影ができるようになります。

手順1~3を何度やり直しても Bluetooth 接続画面の表示 がグレー表示のままで「探索成功」が表示されない場合、 あるいは「プリンター未登録」が表示される場合は、「プ リンターを追加/登録する」(63ページ)をご覧くださ い。それでも接続できないときは、お買い上げ店、また はソニーのサービス窓口にご相談ください。

初めて起動したときは(初期設定)

初めてカメラの電源を入れたときは、プリンターとの Bluetooth による接続の前に、初期設定をする画面が表示 されます。次の手順で、言語と地域を選択します。

1 コントロールボタンの▲または▼を押して言語を選 択してから、ENTER ボタンを押す。

地域を選択する画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して地域を選 択してから、ENTER ボタンを押す。

ここまでの操作で選択した言語と地域を確認する画 面が表示されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して[実行]を 選択してから、ENTER ボタンを押す。

カメラとプリンターをスタンバイモードに するには

すべての操作が終了したら、次の手順でカメラとプリン ターをスタンバイモードにします。

- プリンターのオン/スタンバイボタンを押し、スタンバイランプを消灯させる。
- カメラのオン/スタンバイスイッチを()(スタンバイ)にする。

カメラは内部の最新設定をメモリーに保存してからスタ ンバイモードに切り換わります。この間は AC パワーア ダプターの接続をはずしたり、電池を抜いたりしないで ください。

ご注意

保存の途中で AC パワーアダプターの接続をはずしたり 電池を抜いたりして電源の供給を遮断すると、メモリー への最新設定の保存が失敗することがあります。この場 合、以前の設定に戻ることがありますのでご注意ください。

操作(撮影とプリント)

記録解像度の設定

画質を優先する場合はあらかじめ [解像度] を [HIGH] に設定しておくことをおすすめします。

◆記録解像度の選択のしかたについては、「記録解像度を設定する」(39ページ)をご覧ください。

撮影条件の設定

工場出荷時は、自動で撮影できるように撮影に必要な条件が設定されていますが、必要に応じて撮影条件を撮影 メニューなどで設定することができます。 お使いの環境に合った設定をすることをおすすめします。

◆撮影条件の設定については、「フラッシュモードの設定パラメーター」(13ページ)をご覧ください。

ご注意

撮影中、または画像の削除の操作中に電源が切れると、 画像が壊れたり、カメラが正常に動作しなくなる場合が あります。ACパワーアダプターが抜けたり、電池挿入ぶ たが開かないようにご注意ください。





カメラを被写体に向け、カメラの液晶画面を見て構 図を決める。

ズームレバーを押し、ズーミングで構図を決めるこ とができます。

T:ズーム画面にする。

₩:広角画面にする。

構図を決めるときは、被写体の顔が液晶画面上の四 角の枠に収まるようにしてください。顔の大きさが 枠に合わないときは、枠からはみ出さないようにで きるだけ顔を大きく捉えてください。

レリーズボタンを半押しして被写体に焦点を合わせる。

被写体に焦点が合うと、液晶画面上にフォーカス マークが緑色で表示されます。 半押ししたときにフォーカスマークが赤になったと きは、焦点が合わなかった場合です。ゆっくりと半 押しをやり直してください。

3 レリーズボタンを完全に押し切る。

画像が撮影され、撮影された画像が液晶画面に表示 されます。これをオートレビュー表示と呼びます。 同時に、画像は内蔵のメモリーに記録されます。記 録中は、スタンバイランプがオレンジに高速点滅し ます。記録が終了し、内蔵フラッシュの充電も済ん で次の撮影の準備ができると、スタンバイランプは オレンジの点灯に変わります。

撮影した画像は、オートレビュー表示のままプリントで きます。モードスイッチを切り換える必要はありません。

◆詳しくは「今撮影したばかりの画像をプリントする(オートレビューからプリント)」(28ページ)をご覧ください。

次の画像を撮影するには、レリーズボタンかズームレ バーを押してオートレビュー表示を解除し、手順2、3を 繰り返します。

今撮影したばかりの画像をメモリーから削 除するには

今撮影し、オートレビュー表示されている画像を次の手 順でメモリーから削除することができます。

1 面ボタンを押す。

削除確認画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲を押して[実行]を選択し、 ENTER ボタンを押す。

表示されている画像がメモリーから削除され、カメ ラは撮影状態に戻ります。

撮影時の液晶画面

モードスイッチを **○**に合わせたときの液晶画面の表示例 です。



ご注意

本カメラは、被写体の構図が決めやすいように、露出や 被写体の明るさ、周囲の照明にかかわらず、液晶画面の 表示の明るさを一定に保ちます。このため、実際に撮影 された画像の明るさが、液晶画面での表示と異なること があります。

自動焦点機能について

レリーズボタンを半押しにすると自動焦点機能が働き、 被写体に焦点が合うと液晶画面上部のフォーカスマーク が緑色で表示されます。さらにボタンを押して、完全に 押し切るとシャッターが切れて撮影されます。

半押ししたときに焦点が合わないとフォーカスマークが 赤色で表示されます。もう一度ゆっくりと半押しし直し てください。赤色のフォーカスマークが表示されている 状態でも、レリーズボタンを完全に押し切ると撮影され ます。

半押しで止めずに一気に押し切った場合も撮影されます が、自動焦点機能や露出補正機能は働きません。

セットアップメニューの[操作音]を[シャッター]ま たは[オン]に設定すると、レリーズボタンを半押しに したとき、および完全に押し切ったときに操作音がしま す。

ご注意

レリーズボタンをゆっくりと半押しし直しても焦点が合 わない場合は、カメラの電源を入れ直してください。 また、次のような場合は自動焦点機能が正しく働きませ ん。

- 被写体のコントラストが弱い
- 被写体の一部が非常に明るい
- 撮影環境が暗い
- 被写体の位置がカメラから 80 cm 以内である

露出の補正機能

コントロールボタンの▲または▼を押して、露出の補正 値を簡単に変更することができます。押すと液晶画面に 表示されている露出補正値が変わります。

◆ 露出の補正機能については、「露出を補正する」(42ページ) をご覧ください。

今撮影したばかりの画像をプリント する(オートレビューからプリント)



- オートレビュー表示中に ENTER ボタンを押す。 アジャスト画面が表示され、液晶画面上のガイド枠 が赤く表示されます。
- **2** 画像の大きさを調整する。
 - AUTO FRAME ボタンを押す。 画面上のフレーム内に被写体の顔が収まる大きさ に自動的に調整されます。
 - 必要に応じて、次のボタンを押して画像の大きさ を調整する。
 - ズームレバーで画像を拡大したり、拡大した画像を縮小できます。
 - コントロールボタンの▲、▼、◀、▶を押して画像の表示位置を移動できます。

ご注意

AUTO FRAME ボタンによる自動調整機能は、背景 が均一ではない画像では正しく動作しません。この 場合は、ズームレバーまたはコントロールボタンの ▲▼◆▶を押して画像の大きさ・位置を手動で調整し てください。

また、顔が液晶画面上の枠に対して大きすぎたり小 さすぎると、正しく画像が調整されません。

3 ENTER ボタンを押す。

調整結果が反映され、オートレビュー画面に戻りま す。 MENUボタンを押すと、調整結果を反映せずにオー トレビュー画面に戻ります。 **4** PRINT ボタンを押す。

プリントプレビュー画面が表示されます。 MENUボタンを押すと、オートレビュー画面(また は再生画面)に戻ります。



画面左上の電波強度表示で電波の状態を確認するこ とができます。

- = : 電波状態は良好です。
- : 電波が弱いため、転送に時間がかかる場合 があります。

この後、転送が終了するまでカメラとプリンターは 位置を変えないでください。

5 コントロールボタンの▲または▼を押して、証明写真 フレームを選択する。

希望する証明写真フレームが表示されるまで、▲▼ボ タンを繰り返し押します。

- ◆詳しくは、「プリント時に表示するフレームを設定する」 (44ページ)をご覧ください。
- 6 プリントする部数を設定する。
 - コントロールボタンの ▶ を1回押す。 プリントする枚数が選択できる状態になります。
 - コントロールボタンの▲または▼を押して、プリントする枚数を設定する。
- 7 COLOR/B&W ボタンを押して、プリントをカラーに するか白黒にするかを選択する。
- 8 必要に応じて、選択した証明写真フレームに合わせ て画像の大きさを調整する。
 - ENTER ボタンを押す。 アジャスト画面が表示されます。

- 2) AUTO FRAME ボタンを押す。 画面上のフレーム内に被写体の顔が収まる大きさ に自動的に調整されます。
- 3) 必要に応じて、次のボタンを押して画像の大きさ を調整する。
 - ズームレバーで画像を拡大したり縮小できます。
 - コントロールボタン(▲▼▲▶)を押して画像の表示する部分を動かすことができます。
- 4) ENTER ボタンを押してプリントプレビュー画面 に戻る。
- **9** PRINT ボタンをもう一度押す。

画像データがカメラからプリンターに転送されます。 カメラの液晶画面には「転送中」と転送の進行状態 が表示されます。

[キャンセル] がオレンジ表示の間は、ENTER ボタ ンを押して転送を取り消すことができます。

転送が終了すると [キャンセル] がグレー表示にな り、プリンターはプリントパックの状態を確認して からプリントを開始します。

ご注意

- [キャンセル] ボタンがグレー表示になるとプリントの取消しはできません。
- [キャンセル] ボタンがグレー表示の間は、カメラのボタンを押さないでください。

プリントが始まると、カメラの液晶画面に「転送が完了 しました。[MENU]を押してください。」が表示されま す。MENU ボタンを押して表示を消してください。

液晶画面は、モードスイッチが ●のときは、オートレ ビュー表示に戻ります。プリントが終了すると、同じ画 像を再度別サイズ等でプリントすることができます。 また、プリント中に次の撮影を開始することもできます。 次の画像を撮影するには、シャッターを半押しするか ズームレバーを押して、オートレビュー表示を解除しま す。

モードスイッチが

のときは、再生

画像に
戻ります。

プリンターで画像のプリントが終わると、プリントペー パーがペーパートレイの上に排紙されます。 プリントされた画像の下には画像番号がプリントされま す。この番号は、画像の再生時に液晶画面の上部に表示 される番号と同じになります。

ご注意

排紙されたプリントペーパーを、ペーパートレイの上に ためすぎないように注意してください。プリント済みの プリントペーパーが5枚になったらペーパートレイから 取り除くようにしてください。

プリント画質の調整について

カラープリントと白黒プリントの画質はそれぞれにカメ ラで調整し、調整値を保存しておくことができます。カ ラー画像をプリントするときはカラープリント用の調整 値、白黒画像をプリントするときは白黒プリント用の調 整値が適用されます。

◆ プリント画質の調整について詳しくは、「画質を調整する」 (51ページ)をご覧ください。

白黒プリントの画質調整について

B&W を選択して白黒のプリントをすると、イエロー、マ ゼンダ、シアンを重ね合わせてプリントするため、完全 な無彩色にならないことがあります。プリント画質の調 整機能を使って黒味の調整をすることができます。

カメラの内蔵メモリーに保存されて いる画像をプリントする

撮影した画像はカメラの内蔵メモリーに保存されていま す。保存されている画像をプリントするには、画像を再 生モードで再生してプリントしたい画像を選択します。 その後の手順は、オートレビューからプリントするとき (28ページ)と同じです。

◆ 画像を再生するには、「撮影した画像を液晶画面で見る」(30 ページ)をご覧ください。

プリンターのメモリーに保存した 画像を再プリントする (COPY PRINT)

最後にプリントした画像のデータはプリンターのメモ リーに保存されています。この画像を再プリントするこ とができます。

ご注意

プリンターの ⁽∪ ボタンを押してランプを消す (スタンバ イ状態) と、メモリーに保存されている画像データは削 除され、再プリントはできなくなります。



- **MENU**ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの▼を押し、COPY PRINT [>>] を表示させる。
- 3 コントロールボタンの▶を押す。

COPY PRINT: 1 [1-9 PRINT: EXEC] が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押し、プリントす る枚数を設定する。

1~9枚設定することができます。

5 EXEC ボタンを押す。

手順4で設定した枚数の画像がプリントされます。

プリントが終了すると、Ready 画面に戻ります。

撮影した画像を液晶画面で見る



1 モードスイッチを▶に合わせる。

カメラの内蔵メモリーに保存されている画像が液晶 画面に表示されます。

 コントロールボタンの<または▶を押して、再生する 画像を選択する。

再生時の液晶画面

モードスイッチを **D**に合わせたときの液晶画面の表示例です。



9コマ画面を表示するには

カメラのメモリーに保存されている画像を9枚一度に表 示し、再生したい画像を探すことができます。

1 ズームレバーの W 側を押す。

9コマ画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ◀、▶、▲、▼を押して、再生 する画像を選択する。

 ■または ▶ を押すと前の画像 / 次の画像が選択されます。

 ▲または ▼ を押すと前のページ / 次のページが表示されます。

ENTERボタンまたはズームレバーを押す。
 選択した画像が全体表示されます。

画像を削除する

画像の削除は、1コマ表示と9コマ表示のどちらの場合も 同じ操作です。

再生中の画像を1枚ずつ削除するには



- 1 モードスイッチを▶に合わせる。
- コントロールボタンの<または▶を押して削除したい 画像を選択する。
- 3 面ボタンを押す。

[画像削除] 画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲を押して [実行] を選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

手順2で選択した画像が削除されます。

続けて削除するには

手順2~5を繰り返します。

MENU で 1 枚ずつ削除するには



- 1 モードスイッチを▶に合わせる。
- **2** MENU ボタンを押す。

再生メニューが表示されます。

- 3 コントロールボタンの▲または▼を押して [画像削 除] を選択する。
- **4** ENTER ボタンを押す。

[画像削除] 画面が表示されます。

- 5 コントロールボタンの◀または▶を押して削除したい 画像を選択する。
- 6 コントロールボタンの▲を押して[実行]を選択する。
- **7** ENTER ボタンを押す。

手順6で選択した画像が削除されます。

続けて削除するには

手順5~7を繰り返します。

MENU で一度に全部削除するには



- 1 モードスイッチを▶に合わせる。
- **2** MENU ボタンを押す。

再生メニューが表示されます。

- 3 コントロールボタンの▲または▼を押して[全画像削除]を選択する。
- **4** ENTER ボタンを押す。

[全画像削除] 画面が表示されます。

- 5 コントロールボタンの▲を押して [実行] を選択する。
- 6 ENTERボタンを押す。 メモリーに保存されているすべての画像が削除されます。

削除を中止するには

[画像削除] 画面で [キャンセル] を選択し、ENTER ボ タンを押します。再生メニューに戻ります。

削除操作を終了するには

MENU ボタンを押します。

設定

カメラのメニューには、撮影条件を設定する撮影メ ニュー、撮影した画像に関する再生メニュー、カメラ本 体の設定をするセットアップメニューの3種類がありま す。

- 1 モードスイッチを □に合わせる。
- **2** MENU ボタンを押す。

撮影メニューが表示されます。

メニューに入る前の画面に戻るには

MENU ボタンを押します。

再生メニューを表示する



1 モードスイッチを▶に合わせる。

2 MENU ボタンを押す。

再生メニューが表示されます。

メニューに入る前の画面に戻るには MENU ボタンを押します。

セットアップメニューを表示する

セットアップメニューは、モードスイッチが**△**、▶のい ずれにあるときでも表示することができます。



1 MENU ボタンを押す。

モードスイッチの位置に応じて撮影メニューまたは 再生メニューが表示されます。

- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して [セット アップ]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューが表示されます。

メニューに入る前の画面に戻るには

MENU ボタンを押します。

メニュー

メニュー項目の機能

撮影メニュー

メニュー項目	機能	設定
[閉じる]	メニューを終了します。	—
[解像度]	記録の解像度を選択します。	[HIGH] (3264 × 2448) [STD] (1632 × 1224)
[オート消去]	自動消去モードを設定します。	[オン] メモリーがいっぱいになったとき、古いデータから順番 に消して、新しい撮影データを保存します。 [オフ] メモリーがいっぱいになったとき、撮影ができなくなり ます。
[フラッシュモード]	フラッシュの発光モードを選択します。	P 4自動発光 ₩4強制発光(発光強度100/70/50/35/25/18/12%) ₩3 発光禁止
[絞り設定]	絞りを選択します。 フラッシュモードが M4 またはM3 に設定され ているときのみ有効です。	F4.7 F5.6
[シャッター]	シャッター速度を選択します。 フラッシュモードが M4 または M 3に設定され ているときのみ有効です。	1/2[s], 1/4[s], 1/8[s], 1/15[s], 1/30[s], 1/60[s], 1/100[s], 1/125[s], <u>1/250[s]</u> , 1/500[s], 1/750[s], 1/1000[s]
[WB]	ホワイトバランスを調整します。 フラッシュモードが M4 または M 3に設定され ているときのみ有効です。	[プログラム]:自動調整 [ワンプッシュ]:任意の白い画像を白の基準値として取り 込みます。 3000K、3500K、4000K、4500K、5000K、5500K、 6000K、6500K、7000K:選択した色温度でホワイトバラ ンスが調整されます。
[EV 補正]	露出補正値を設定します。	フラッシュモードが P f のとき:-2.0EV ~ <u>OEV</u> ~ +2.0EV (1/4EV 刻み) フラッシュモードが M f または M \mathfrak{I} のとき:-1.0EV ~ <u>OEV</u> ~ +2.0EV (1/4EV 刻み)
[セットアップ]	セットアップメニューを表示します。	(詳細は セットアップメニュー」(36 ページ)参照)

:工場出荷時の設定

MENU ロック:MENU ボタンの長押しで、メニューのロック/アンロック ができます。

メニュー項目	機能	設定
[閉じる]	メニューモードを終了します。	_
[プロパティ]	表示画像の情報を表示します。	
[画像削除]	表示画像を削除します。	_
[全画像削除]	メモリーに保存されている全ての画像を削除	_
	します。	
[プリント予約解除]	選択されたプリント予約を解除します。	_
[全プリント予約解除]	すべてのプリント予約を解除します。	_
[セットアップ]	セットアップメニューを表示します。	(詳細は「セットアップメニュー」(このページ)参照)

MENU ロック:MENU ボタンの長押しで、メニューのロック/アンロック ができます。

セットアップメニュー

メニュー項目	機能	設定
[戻る]	セットアップ モードを終了し、元のメニュー	—
	画面に戻ります。	
[予約プリント]	予約プリントを有効または無効にします。	[オン]
		<u>[オフ]</u>
[証明写真フレーム選択]	レイアウトプレビュー画面で、液晶画面に表	[全選択]
	示する証明写真フレームを選択します。	[全解除]
	本システムで使用できる証明写真フレームは、	追加フレーム 1
	右記の内容から変更されることがあります。	追加フレーム 2
		追加フレーム 3
		追加フレーム 4
		追加フレーム 5
		USA:パスポート
		CAN:パスポート
		MEX:パスポート
		COL:パスポート
		VEN:パスポート
		EU:パスポート
		GBR:パスポート
		DEU:パスポート
		FRA:パスポート
		ITA:パスポート
		NLD:パスポート
		ESP:パスポート
		AUT:パスポート
		RUS:パスポート
		TUR:パスポート
		AUS:パスポート
		NZL:パスポート
		JPN:パスポート
		JPN:運転免許証
		JPN:履歴書
[追加フレーム設定]	任意の証明写真フレームを作成し、5つまで	—
	登録します。	
[型抜きプリント]	型抜きプリントを有効または無効にします。	[オン]
		[オフ]
メニュー項目	機能	設定
-------------	-----------------------------	---
[カラー調整]	カラープリントの画質を調整します。	 CYN -RED:シアンとレッドの調整をします。(-7~<u>0</u>~+7) MAG-GRN:マゼンタとグリーンの調整をします。(-7~<u>0</u>~+7) YEL-BLU:イエローとブルーの調整をします。(-7~<u>0</u>~+7)
[白黒調整]	白黒プリントの画質を調整します。	 DARK:暗い部分の明るさを調整します。(-7~<u>0</u>~+7) LIGHT:明るい部分の明るさを調整します。(-7~<u>0</u>~+7) GAMMA:画像のトーンを調整します。(-7~<u>0</u>~+7) SHARPNESS:画像の輪郭を調整します。(-7~<u>0</u>~+7)
[オートパワーセーブ]	オートパワーセーブの設定または解除を行い ます。	 ◆ C : AC パワーアダプター使用時のオートパワーセーブ 設定を行います。([10 分] / [30 分] / [なし]) ◆ C : 電池使用時のオートパワーセーブ設定を行います。 ([3 分] / [7 分] / [10 分])
[操作音]	操作音を ON/OFF します。	[オフ] <u>[シャッター]</u> [オン]
[表示言語]	言語を選択します。	<u>English</u> /Francais/Deutsch/Italiano/Espanol/Portugeus/ Nederlands/Русский/日本語
[設定リセット]	カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。	—
[バージョン情報]	カメラのバージョンを表示します。	—
[Bluetooth]	Bluetooth 機能の設定を行います。	 [プロパティ]:カメラの Bluetooth アドレス、パスキー、 登録プリンターのリストを表示します。 [パスキー変更]:設定されているパスキーを変更します。 0000~9999の数値を設定できます。([1234]) [プリンター追加]:プリンターを追加登録します。3台まで登録することができます。 [プリンター削除]:登録されているプリンターを1台ずつ 削除します。 [Bluetooth オン (オフ)]: Bluetooth 回路の電源を ON/ OFF します。([オン])

: 工場出荷時の設定

プリンター

メニュー項目	機能	設定
COLOR ADJUST COLOR	カラープリントの画質を調整します。	本システムでは使用しません。
COLOR ADJUST B&W	白黒プリントの画質を調整します。	本システムでは使用しません。
Bluetooth SETTING	Bluetooth の設定をします。	 Bluetooth ADDR: Bluetooth のアドレスを表示します。 PASSKEY INPUT:パスキーの設定、変更をします。 MY DEVICE NAME: プリンターに番号を付けます。 CONNECTION RECORD: 接続機器の履歴を表示します。 MODULE POWER: Bluetooth 回路の電源を ON/OFF します。
PRINT SETTING	UPC-X46 シリーズのプリントペーパーにプリ ントする位置を微調整します。	PRINT OFFSET (- 2/ - 1/0/1/2) 0.5 mm 単位でプリント位置を調整します。
COPY PRINT	メモリーに読み込んだ最新のデータを再プリ ントします。	[1 - 9] 再プリントの枚数を設定します。
TOTAL PRINTS	総プリント枚数を表示します。	—

記録解像度を設定する

プリントサイズに合わせて最適な記録解像度を設定しま す。



- 1 撮影メニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「撮影メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して[解像度] を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[記録解像度] 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、以下の2 つの選択肢から記録解像度を選択する。

HIGH: 3264 × 2448(約 30 枚は撮影可能) STD: 1632 × 1224(約 120 枚は撮影可能) 撮影可能枚数は実際に撮影する画像によって変わり ます。撮影時に液晶画面の右上に表示される枚数を 参考にしてください。通常はそれぞれ上記枚数以上 撮影できますが、細かな模様が含まれる画像が多い と、撮影可能枚数がこれより少なくなる場合があり ます。

5 ENTER ボタンを押す。

撮影メニューに戻ります。

自動消去モードを設定する

カメラのメモリーがいっぱいになったときの動作を設定 します。



- 撮影メニューを表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「撮影メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して、 [オート消去]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[オート消去] 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して、オ ン/オフを選択する。

オン:メモリーがいっぱいになったとき、古いデー タから自動的に順番に消去して、新しい撮影 データを保存します。

- **オフ**:メモリーがいっぱいになったとき、撮影がで きなくなります。
- **5** ENTER ボタンを押す。

撮影メニューに戻ります。

フラッシュモードを選択する



- 1 撮影メニューを表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「撮影メニューを表示する」
 (33ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して、[フラッシュモード]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[フラッシュモード] 画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して、フラッシュモードを選択する。
 - ◆ 各モードについての詳細は、「フラッシュモードと撮影 環境例」(12ページ)をご覧ください。
- **5** ENTER ボタンを押す。

P4またはM3を選択していたときは、撮影メニューに 戻ります。 M4を選択していたときは、フラッシュの発光強度を 選択するメニューが表示されます。コントロールボ タンの▲または▼を押して発光強度(100/70/50/

35/25/18/12%)を選択してから ENTER ボタンを押 します。発光強度が設定され、撮影メニューに戻り ます。

絞りを設定する

絞りは、フラッシュモードがM₄、M3のときだけ設定でき ます。



- 1 撮影メニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「撮影メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して[絞り]を 選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[絞り] 画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押してF4.7/F5.6を 選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

撮影メニューに戻ります。

シャッター速度を設定する

シャッター速度は、フラッシュモードがM4、M3のときだ け設定できます。



- 1 撮影メニューを表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「撮影メニューを表示する」
 (33ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して[シャッター]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[シャッター速度] 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押してシャッター 速度を選択する。

1/2 (s)、1/4 (s)、1/8 (s)、1/15 (s)、
1/30 (s)、1/60 (s)、1/100 (s)、1/125 (s)、
1/250 (s)、1/500 (s)、1/750 (s)、1/1000 (s)
から選択します。

5 ENTER ボタンを押す。

撮影メニューに戻ります。

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスは、フラッシュモードがM4、M3のとき だけ設定できます。



- 1 撮影メニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「撮影メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して [WB] を 選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[WB [ホワイトバランス]] 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押してホワイトバランスの調整方法を選択する。

プログラム:ホワイトバランスを自動調整します。 ワンプッシュ:新たに画像を白の基準値として取り込みます。撮影時と同じ照明条件にして白いもの(紙、布など)を液晶画面の中央に写してからレリーズボタンか ENTER ボタンを押すと、その時点の照明条件でホワイトバランスが調整され、取り込まれます。

- **3000K ~ 7000K**:撮影時の照明に合わせて色温度を 選択します。3000K ~ 7000K の範囲で、500K 単 位で選択できます。選択した温度でホワイトバ ランスが調整されます。
- **5** ENTER ボタンを押す。

撮影メニューに戻ります。

露出を補正する

撮影時の露出補正値の初期値を設定できます。



- 1 撮影メニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「撮影メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して[EV 補正] を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[EV 補正値] 画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して補正量を選 択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

撮影メニューに戻ります。

露出を簡単に補正するには

撮影時にコントロールボタンの▲または▼を押すと、液 晶画面に表示されている露出補正値が変わり、簡単に変 更することができます。 この方法で、メニューがロックされているときでも露出 補正値を変更することができます。

◆メニューのロックについては、「カメラのメニューをロックする」(51ページ)をご覧ください。

撮影した画像の情報を見る

撮影した画像のフラッシュモードなどの情報を液晶画面 で確認できます。



- 再生メニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「再生メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して、
 [プロパティ]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[プロパティ] 画面が表示されます。 コントロールボタンの ◀ または ▶ を押して画像の選 択ができます。

4 ENTER ボタンを押す。

再生メニューに戻ります。

ご注意

[プロパティ] 画面では、プリント操作ができません。再 生表示に戻ってからプリント操作を行ってください。

予約プリント機能を使用する

本システムには、撮影した画像をあとでまとめてプリン トする予約プリント機能があります。この機能を使用す るときは、次の手順で予約プリント機能を有効にします。



1 セットアップメニューを表示する。

◆ 表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。

- コントロールボタンの▲または▼を押して[予約プリント]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[予約プリント] 画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して[オン]を 選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューに戻ります。

予約プリント機能を有効にしたときの撮影 とプリントについて

カメラの予約プリント機能を有効にすると、次のように 動作します。

撮影(オートレビュー)または再生時にプリント操作を 実行したとき

撮影した画像のプリント操作を行ったときに、画像がプ リント予約され、プリントを実行するかどうかを確認す る画面となります。

- [キャンセル]を選択すると撮影に戻ったり別の画像の プリント操作を行うことができます。
- [実行]を選択すると、プリント予約されているすべて の画像が続けて印刷されます。

予約プリント中の動作

予約プリント中に一時停止をすることにより、撮影を再 開できます。予約を追加してプリントを再開すると未プ リントの画像と追加した画像がプリントされます。 予約プリントのプリント順序は、プリントを開始した画 像を先頭とする画像のコマ番号の順になります。最後の コマ番号の画像のプリントが終わったら、最初のコマ番 号の画像から順にプリントされます。

ご注意

- 予約プリント実行時は、複数のプリンターを接続していても1台のプリンターでのみプリントが行われます。
- プリント後、排紙された用紙をペーパートレイに5枚を 超えてためないでください。紙づまりの原因となりま す。

プリント予約を1枚ずつ解除するには

画像のプリント予約を解除するには、次の手順でプリン ト予約フラグを取り除きます。

- 1 モードスイッチを▶に合わせる。
- 2 再生メニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「再生メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- 3 コントロールボタンの▲または▼を押して[プリント 予約解除]を選択する。

4 ENTER ボタンを押す。

[プリント予約解除] 画面が表示されます。

5 コントロールボタンの◀または▶を押して、プリント 予約を解除する画像を表示する。

6 コントロールボタンの▲を押して OK を選択する。

7 ENTER ボタンを押す。

手順5で選択した画像のプリント予約が解除されます。

他の画像のプリント予約を続けて解除するには 手順5~7を繰り返します。

プリント予約を一度にすべて解除するには 次の手順で、すべてのプリント予約を一度にまとめて解

次の子順で、97~000000下子料を一度によどめで 除できます。

- 1 モードスイッチを▶に合わせる。
- 2 再生メニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「再生メニューを表示する」 (33ページ)をご覧ください。
- 3 コントロールボタンの▲または▼を押して[全プリント予約解除]を選択する。
- **4** ENTER ボタンを押す。

[全プリント予約解除] 画面が表示されます。

- 5 コントロールボタンの▲を押して OK を選択する。
- **6** ENTER ボタンを押す。

すべてのプリント予約が解除されます。

プリント時に表示するフレームを設 定する

プリントプレビュー画面で選択できる証明写真フレーム を、セットアップメニューで設定することができます。 使用頻度の高いフレームだけを表示するようにしておく と、フレームの選択が簡単になります。



1 セットアップメニューを表示する。

- ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して[証明写真 フレーム選択]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[証明写真フレーム選択] 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して証明写真フレームを選択する。

コントロールボタンの ◀または ▶ を押して、画面の 次のページを表示したり前のページに戻ることがで きます。

5 ENTER ボタンを押す。

選択したフレームに√マークが表示され、プリント プレビュー画面で選択できるようになります。 再度押すと√マークが消え、プリントプレビュー画 面で選択できないようになります。

ENTER ボタンを押すたびに、チェックボタンの表 示が切り替わります。

[全選択]を選択して ENTER を押すと、すべての証 明写真フレームに√が表示されます。 [全解除]を選択して ENTER を押すと、すべての証 明写真フレームの√が消えます。

ご注意

証明写真フレームは少なくとも1つ選択してください。すべての証明写真フレームの√マークを消した ままでは、[証明写真フレーム選択] 画面を終了する ことはできません。

- 6 必要な設定が終了したら、コントロールボタンの▲ または▼を押して [戻る] を選択する。
- **7** ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューに戻ります。

証明写真フレームの国コードの例

本カメラでは、選択されている言語にかかわらず、証明 写真フレームの国の表記に下記の国際標準コードを使用 しています。

コード	国
AUS	オーストラリア
AUT	オーストリア
BRA	ブラジル
CAN	カナダ
COL	コロンビア
DEU	ドイツ
ESP	スペイン
EU	EU
FRA	フランス
GBR	イギリス
ITA	イタリア
JPN	日本
MEX	メキシコ
NLD	オランダ
NZL	ニュージーランド
PRT	ポルトガル
RUS	ロシア
TUR	トルコ
USA	アメリカ合衆国
VEN	ベネズエラ

ご注意

初期設定で選択した国や地域によっては、このコードが 示す国の証明写真フレームの一部が選択できないことが あります。

追加フレームを作成する

任意のサイズの証明写真フレームを定義して、5つまでカ メラに登録できます。



追加フレームの作成時には、次の枠を定義します。



- 1 セットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して [追加フレーム設定]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[追加フレーム設定] 画面の1枚目が表示されます。

- 4 コントロールボタンの◀または▶を押してフレーム番号(1~5)を選択する。
- 5 コントロールボタンの▼を押して [次へ] を選択して から、ENTER ボタンを押す。

[追加フレーム設定] 画面の2枚目が表示されます。

6 写真サイズを設定する。

コントロールボタンの▲または▼を押して次の設定 項目を選択し、◀または▶を押して設定値を選択し ます。



[寸法単位]:単位を選択します。 [縦サイズ]:写真サイズの高さを設定します。 [横サイズ]:写真サイズの幅を設定します。

7 コントロールボタンの▼を押して [次へ] を選択して から、ENTER ボタンを押す。

[追加フレーム設定] 画面の3枚目が表示されます。

8 最大顔サイズ(被写体の顔の部分が収まる最大範囲) を設定する。

コントロールボタンの▲または▼を押して次の設定 項目を選択し、◀または▶を押して設定値を選択し ます。



[オフセット]:フレーム外周から最大顔領域までの 距離を設定します。

[縦サイズ]:最大顔サイズの高さを設定します。 [横サイズ]:最大顔サイズの幅を設定します。

9 コントロールボタンの▼を押して [次へ]を選択して から、ENTER ボタンを押す。

[追加フレーム設定] 画面の4枚目が表示されます。

10 最小顔サイズ(被写体の顔の部分が収まる最小範囲) を設定する。

コントロールボタンの▲または▼を押して次の設定 項目を選択し、◀または▶を押して設定値を選択し ます。



[オフセット]:フレーム外周から最小顔サイズまでの距離を設定します。

[縦サイズ]:最小顔サイズの高さを設定します。 [横サイズ]:最小顔サイズの幅を設定します。

11 コントロールボタンの▼を押して [次へ] を選択して から、ENTER ボタンを押す。

[追加フレーム設定] 画面の5枚目が表示されます。

12 眼領域(被写体の眼の部分が位置する領域)を設定 する。

コントロールボタンの▲または▼を押して次の設定 項目を選択し、◀または▶を押して設定値を選択し ます。



[オフセット]:フレーム外周から眼領域までの距離 を設定します。

[縦サイズ]:眼領域の高さを設定します。 [横サイズ]:眼領域の幅を設定します。

13 コントロールボタンの▼を押して [次へ] を選択して から、ENTER ボタンを押す。

[追加フレーム設定] 画面の6枚目が表示されます。

14 ここまでの設定内容を確認する。

設定を変更するときは、コントロールボタンの ◀を 押して [戻る] を選択してから ENTER ボタンを押 して前の画面に戻ります。

15 コントロールボタンの ◀ または ▶ を押して [決定] を 選択してから、ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューに戻ります。

設定の途中で前の画面の設定を変更するに は

[追加フレーム設定] 画面の2枚目から6枚目の表示中 は、1つ前の画面に戻って設定をし直すことができます。 前の画面に戻るには、コントロールボタンの▲を押して [戻る]を選択してから、ENTER ボタンを押してくださ い。

追加フレームを使用するには

[証明写真フレーム選択]の一覧で追加フレームを有効に できます。詳しくは「プリント時に表示するフレームを 設定する」(44ページ)をご覧ください。

型抜きプリント機能を使用する

撮影した画像を、裁断したときに目的のサイズとなるように、フレームのサイズよりも約3mm大きめにプリントできます(これを「型抜きプリント」と呼びます)。この機能を使用するときは、次の手順で型抜きプリント機能を有効にします。



- セットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して[型抜きプリント]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[型抜きプリント] 画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して[オン]を 選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューに戻ります。 以降、撮影した画像は、選択した証明写真フレーム のサイズよりも約3mm大きめにプリントされます。

ご注意

型抜きプリント機能をオンにすると、プリントペー パー1枚あたりにプリントされる画像の数が通常の プリント時よりも少なくなることがあります。

オートパワーセーブ(節電)を設定 する

オートパワーセーブを設定すると、一定時間何も操作し なかったときにカメラが節電モードに切り換わります。 節電モードに切り換わるまでの時間を、ACパワーアダプ ター使用時と電池使用時ごとに設定できます。



1 セットアップメニューを表示する。

- ◆ 表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して[オートパワーセーブ]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[オートパワーセーブ] 画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して、-C=(AC パワーアダプター)と(■)(電池)のどちらかを選択 する。
- 5 コントロールボタンの ◀または ▶を押して、節電モードに切り換わるまでの時間を選択する。

【C パワーアダプター)を選択したときは [10分] または [30分]、[なし]のいずれかを選択できます。
 【10分](電池)を選択したときは [3分]または [7分]、[10分]のいずれかを選択できます。
 [なし]を選択したときは、オートパワーセーブは無効になります。

6 コントロールボタンの▲または▼を押して[実行]を 選択する。 **7** ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューに戻ります。

オートパワーセーブ動作時に電源を入れ直 すには

次のいずれかの操作を実行します。

- カメラのオン/スタンバイスイッチをスタンバイにして から、再度1(オン)にする。
- レリーズボタンを半押しする。
- カメラの任意のボタンを押す。

サウンドを選択する

カメラを操作したときに操作音が鳴るようにするかどう かを設定することができます。



- 1 セットアップメニューを表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して [操作音] を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[操作音] 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して音の設定を 選択する。

[オフ]:操作音を消します。

- [シャッター]:レリーズボタンを押したとき、およ びプリント操作をしたときに音が出ます。
- [オン]:カメラのすべての操作で音が出ます。(ズーム操作などを除く)
- **5** ENTER ボタンを押す。

液晶画面の表示言語を選択する



- セットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して、 [表示言語]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[表示言語] 画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して、表示したい言語を選択する。

英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイ ン語/ポルトガル語/オランダ語/ロシア語/日本 語から選択します。

5 ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューに戻ります。

セットアップメニューに戻ります。

設定を出荷時の設定に戻す

カメラの設定を出荷時の状態に戻します。



- 1 セットアップメニューを表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して、
 [設定リセット]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[設定リセット] 画面が表示されます。

- 4 注意文をよく読み、コントロールボタンの▲ボタンを 押して、[OK]を選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

カメラの設定が出荷時の状態に戻り、セットアップ メニューに戻ります(撮影した画像と追加フレーム はそのまま保持されます)。

カメラのファームウェアのバージョンを表示します。 サービスをご利用になるときの参考にします。



1 セットアップメニューを表示する。

- ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して[バージョン情報]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[バージョン情報] 画面が表示されます。

4 ENTER ボタンを押す。

セットアップメニューに戻ります。

カメラのメニューをロックする

撮影または再生中に、カメラの MENU ボタンを押しても メニュー画面を表示しないようにすることができます。 誤ってメニューの設定内容が変更されるのを防ぐことが できます。

メニューをロックするには

MENUボタンを5秒以上押し続けます。メニュー画面が 消え、錠前アイコン®が表示されます。これでメニュー はロックされ、MENUボタンを押してもメニュー画面は 表示されず、錠前アイコンが表示されてメニューがロッ クされていることを知らせます。 メニューのロックは、撮影モードと再生モードを切り換

えたり、電源を入れ直しても保持されます。

メニューのロックを解除するには

錠前アイコンが表示されている状態で MENU ボタンを5 秒以上押し続けます。錠前アイコン ⑦が消え、メニュー 画面が表示されます。

プリントの画質調整

カメラのメニュー機能を使って、プリントする画像の画 質を調整することができます。調整した結果は、カメラ のガイドプリント機能を使って確認することができます。 CYN-RED、MAG-GRN、YEL-BLUの各画面の数値の意 味は「画質調整パラメーターの解説」(52ページ)を参 照してください。

画質を調整する

カラープリントの画質を調整するには



- 1 セットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- コントロールボタンの▲または▼を押して[カラー調 整]を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

[カラー調整] 画面が表示されます。

4 各調整項目を設定する。

コントロールボタンの▲または▼を押して次の調整 項目を選択し、**4**または▶を押して設定値を選択し ます。

- **CYN-RED**: ◀を押すとシアンが強くなり、▶ を押す と赤みを帯びます。
- MAG-GRN: ◀を押すとマゼンタが強くなり、▶を 押すと緑色みを帯びます。
- YEL-BLU: ◀を押すと黄色みが強くなり、▶ を押す と青みを帯びます。
- **DARK**: ▶ を押すと暗い部分がより暗くなります。
- **LIGHT**: ▶ を押すと明るい部分がより明るくなりま す。
- GAMMA: ◀を押すと全体的に色調が薄くなり、▶ を押すと濃くなります。
- SHARPNESS:▶を押すと輪郭がはっきりしていき ます。
- 5 コントロールボタンの▲または▼を押して[決定]を 選択してから、ENTER ボタンを押す。

[ガイドプリント] 画面が表示されます。

6 コントロールボタンの▲または▼を押して、[ガイド プリント RGB] または [ガイドプリント DLGm] を 選択してから、ENTER ボタンを押す。

ガイド画像がプリントされます。ガイド画像には、 直前に撮影された画像または再生中の画像が使用さ れます。

- ◆ ガイドプリント機能について詳しくは「ガイドプリント 機能」(55ページ)をご覧ください。
- **7** MENU ボタンを押す。
 - セットアップメニューに戻ります。

前の手順でプリントされたガイド画像を確認し、必要な場合は手順2以降を繰り返して画質を再調整します。

白黒プリントの画質を調整するには

「カラープリントの画質を調整するには」(51ページ)の 手順2で[白黒調整]を選択すると、白黒プリントの画 質調整モードになります。調整方法はカラープリントの 画質調整と同じです。

画質調整パラメーターの解説

R、G、B パラメーターを変化させた場合の画質変化



CYN-RED 調整(R パラメーター)

シアンと赤の成分を調整します。デフォルトは0です。 カメラのコントロールボタンの▶を押して+方向に1、 2…7と変化させると、図1に示すように画像の赤成分 の値が増し、明るくなる方向に直線的に増幅して、赤い 光を軽く当てたように赤味が増します。ただし最高の明 るさ255を超えることはできず、255以上は飽和してしま います。たとえば飽和している白い部分はいくら+に変 化させても白のままです。

コントロールボタンの ◀を押して – 方向に – 1、 – 2 · · · – 7 と変化させると、図に示すように画像の赤成分の値が 減り、暗くなる方向へ直線的に減衰します。輝度が低く なるため、暗めになりながら赤味が落ちていきます。そ してその補色であるシアン(水色)を加えたようになり ます。この場合、白い部分は水色っぽくなります。

MAG-GRN 調整(Gパラメーター)

マゼンタとグリーンの成分を調整します。デフォルトは0 です。

カメラのコントロールボタンの▶を押して+方向に1、 2...7と変化させると、図1に示すように画像の緑成分 の値が増し、明るくなる方向に直線的に増幅して、緑光 を軽く当てたように緑味が増します。ただし最高の明る さ255を超えることはできず、255以上は飽和してしまい ます。たとえば飽和している白い部分はいくら+に変化 させても白のままです。

コントロールボタンの ◀を押して – 方向に – 1、 – 2 ··· –7と変化させると、図に示すように画像の緑成分の値が 減り、暗くなる方向へ直線的に減衰します。輝度が低く なるため、暗めになりながら緑色が落ちていきます。そ してその補色であるマゼンタ(赤紫色)を加えたように なります。この場合、白い部分はマゼンタっぽくなりま す。

YEL-BLU 調整(B パラメーター)

黄色と青の成分を調整します。デフォルトは0です。 一部の特殊仕様を除き、B&W 選択時は無効です。 カメラのコントロールボタンの▶を押して+方向に1、 2…7と変化させると、図1に示すように画像の青成分 の値が増し、明るくなる方向に直線的に増幅して、青い 光を軽く当てたように青味が増します。ただし最高の明 るさ255を超えることはできず、255以上は飽和してしま います。たとえば飽和している白い部分はいくら+に変 化させても白のままです。

コントロールボタンの ◀を押して-方向に-1、-2… -7と変化させると、図に示すように画像の青成分の値が 減り、暗くなる方向へ直線的に減衰します。輝度が低く なるため、暗めになりながら青味が落ちていきます。そ してその補色である黄色を加えたようになります。この 場合、白い部分は黄味がかります。

D、L、Gm パラメーターを変化させた場合の画質変化



DARK 調整 (Dパラメーター)

暗い部分の調整をします。デフォルトは0です。 カメラのコントロールボタンの▶を押して+方向に1、 2...7と変化させると、図2に示すように RGB の各デー タが同時に暗い側がより濃くなる方向に直線的に増幅し、 深みが増します。ただし最も暗い0を下回ることはでき ず、飽和します。

コントロールボタンの ◀ を押して – 方向に – 1、 – 2 ··· -7と変化させると、RGB の各データの暗い側が明るくな り、深みがなくなります。

LIGHT 調整(L パラメーター)

明るい部分の調整をします。デフォルトは0です。 カメラのコントロールボタンの▶を押すと、図1に示す ようにR、G、Bパラメーターが同時に変化し、RGBの各 データの明るい側がより明るくなる方向に直線的に増幅 し、露出オーバー的な画質が得られます。 コントロールボタンの ◀を押すと、RGBの各データの明 るい側が暗くなり、露出アンダー的な画質が得られます。

GAMMA 調整(Gm パラメーター)

ガンマ値を調整します。デフォルトは0です。 カメラのコントロールボタンの▶を押すと、RGBの各 データの中間調がより明るくなる方向に増幅します。 コントロールボタンの◀を押すと、RGBの各データの中 間調が暗くなる方向に減衰します。

SHARPNESS 調整

画像の先鋭度を調整します。 カメラのコントロールボタンの▶を押して+方向に0か ら1、2…7と変化させると、画像のエッジ部分が強調 されます。プリントサイズが小さいときは数値を低く設 定することをおすすめします。

SHARPNESS

SHARPNESS の調整は、画像のエッジ部分を強調する機 能です。この機能は解像度を高めたりするものではあり ません。見た目上の先鋭度を変化させる機能です。 SHARPNESS は画作りのパラメーターとして使いますが、 先鋭度を高め過ぎると自然な画質にはなりません。基本 的にはデフォルトの設定をおすすめします。大きな画像 サイズの場合設定値を大きくすると、見かけ上の画質が 良くなります。

コントラスト

先鋭度とは別に、画質に濃淡のメリハリ、すなわちコン トラストをつけて先鋭度が高まったように見せることが できます。コントラスト機能としてメニュー画面で設定 できる DARK と LIGHT があります。DARK と LIGHT をプラス側に設定するとコントラストが高まり、硬調な 画質が得られます。ただし、プラスにすればするほど白 側と黒側がつぶれ、情報量が欠落しますので、適度なコ ントラスト設定が必要です。+2~+3をおすすめしま す。

ガイドプリント機能

カラー/白黒プリントの調整時に [ガイドプリント RGB] または [ガイドプリント DLGm] を選択してプリントす ると、RGB の各パラメーター、または DLGm の各パラ メーターを変化させた場合のガイド画像をプリントする ことができます。 ガイドプリントは UPC-X46 シリーズ、UPC-X34 シリーズ のいずれのプリントペーパーでも出力できます。 下図は、ガイド画像のプリント例です。



[ガイドプリント RGB] (RGB パラメーター調整)

[ガイドプリント RGB] を選択してプリントすると、RGB パラメーターによるガイド画像(調整シミュレーション) がプリントされます。プリントする画はカメラに再生さ れている画像を使っていますので、実際の画質を見て調 整することができます。 中心の画像が現在の色調整値によるプリントです。そし てその周囲に6コマの色違いの再生画がプリントされま す。



なお、各コマの下に記述されている数値は、R、G、Bの 各パラメーター値です。たとえば上図で、左上の色合に したい場合、(RED、GREEN、BLUE) = (0, 0, +3)ですから、Bパラメーターを+3に設定します。 また、(RED、GREEN、BLUE) = (0, 0, +3) をさら に調整したい場合は、B パラメーターを+3 に設定した 後、再度 [ガイドプリント RGB] をプリントしてくださ い。(RED、GREEN、BLUE) = (0, 0, +3) を中心に 各色を変化させたシミュレーションが得られます。

[ガイドプリント DLGm] (DLGm パラメーター調整)

[ガイドプリント DLGm]を選択してプリントすると、 DLGm パラメーターによるカラーガイドがプリントされ ます。プリントする画はカメラに再生されている画像で すので、実際の画質を見て調整することができます。 中心の画像が現在の色調整値によるプリントです。そしてその周囲に6コマの色違いの再生画がプリントされます。



なお、各コマの下に記述されている数値は、D、L、Gm の各パラメーター値です。たとえば上図で、左上のトー ンにしたい場合、(DARK、LIGHT、GAMMA) = (+3、0、0)ですから、Dパラメーターを+3に設定しま す。

また、(DARK、LIGHT、GAMMA) = (+3、0、0) に さらに調整を行いたい場合は、D パラメーターを+3 に設 定した後、再度 [ガイドプリント DLGm] をプリントし てください。(DARK、LIGHT、GAMMA) = (+3、0、 0) を中心に各パラメーターを変化させたシミュレーショ ンが得られます。

色調整のアドバイス

ガイドプリント機能は色調整のおおよその方向性を与え てくれますが、以下のことを理解しておくと、ガイドプ リント機能をより充実して使うことができます。 ガイドプリントは白黒プリントでも行えます。本システ ムの白黒プリントはシアン、マゼンタ、イエローの3色 を重ねてグレーを表しているため完全な無彩色にはなら ず、色が付いて見えることがあります。白黒のガイドプ リントにより、この3色のバランスを調整できます。

補色について

画像は3色のデータ(Rデータ、Gデータ、Bデータ)か ら構成されています。色調整機能は、この3色のバラン スを変えることで行います。 Rパラメーターを変更する場合、液晶画面に CYN-RED (シアンと赤)という表示が現われます。同様にGパラ メーターを変更する場合は MAG-GRN (マゼンタと緑)、 Bパラメーターを変更する場合は YEL-BLU (黄色と青) 表示が現われます。 これらシアンと赤、マゼンタと緑、黄色と青は、それぞ

れ補色の関係にあります。たとえば、REDを増やすと CYN が薄れ、REDを減らすと CYN が濃くなるといった 関係です。

+と-の選択の違い

R、G、Bの各パラメーターを0として[ガイドプリント RGB]をプリントすると、各パラメーターが0のコマを 中心に、各パラメーターを独立に+3あるいは-3した ときのコマがシミュレーションされてプリントされます。 この+や-の意味を説明します。

画像データを構成する R データ、G データ、B データは、 各色の光の強さを数値化したデータです。+の意味は、 その光をさらに強めるという意味があります。逆に-は、 その光を弱めるという意味があります。+の特徴として、 データ(光)の飽和があります。この特徴は背景を白に しなければならない場合に、白は変化しないという大変 都合の良い結果をもたらします。

・+に設定すると

たとえば R パラメーターを+3にするという意味は、 RED 成分の光を強めるということですから、全体的に 赤味を帯びることになります。同時に光の量が増えてい ますので、画像はその分明るくなっています。 ただし、この光を強めても変化しない部分があります。

それは、画像上でこの光の成分が全くない部分、たとえ ば純粋な緑やシアンや青およびその中間色や真っ黒、ま たは画像上でこの光の成分が飽和した部分、たとえば純 粋な赤紫(マゼンタ)や赤や黄およびその中間色や真っ 白が該当します。

・-に設定すると

たとえばRパラメーターを-3にするという意味は、 RED 成分の光を弱めるということですから、全体的に 赤の補色であるシアン味を帯びることになります。同時 に光の量が減っていますので、画像はその分暗くなって います。

+のときと異なり、この光の成分が飽和していた部分、 たとえば純粋な赤紫(マゼンタ)や赤や黄およびその中 間色や真っ白な部分もシアン味を帯びますので、特に背 景を白くしている場合や、白い衣服を着ている場合は色 が付いてしまいます。

具体例 1: 黄色味を抜く方法

被写体から黄色味を抜く場合、[ガイドプリント RGB] で は B パラメーターを + にするようアドバイスしてくれま す。

具体例 2: 黄色味を加える方法

被写体に黄色味を加える場合、[ガイドプリント RGB] で はBパラメーターを-にするようアドバイスしてくれま す。ただし、光を弱めるという概念で判るように、白い 部分にも黄色味が付いてしまいます。これを避けるには、 Bパラメーターをマイナスにした分、Lパラメーターをプ ラスにしてください。結果的には、Bパラメーターを変え ずに、RパラメーターとGパラメーターを+にしたこと と同じです。ここでの注意点は、全体的に明るさが強ま る点です。

プリント時間

プリントの時間は、プリントサイズや使用する用紙サイズによって異なります。

プリント時間

カメラの PRINT ボタンを押してから、プリンターがカメ ラからの画像データを受信して1枚の画像をプリントす るのにかかるおおよその時間の1例です。

	解像度	プリントサイズ	
797×~/~		2×2 inch	$45 \times 35 \text{ mm}$
UPC-X34 シリーズ	STD	約83秒	約78秒
	HIGH	約83秒	約78秒
UPC-X46 シリーズ	STD	約 120 秒	約 120 秒
	HIGH	約 120 秒	約 120 秒

プリント処理中の画面表示

プリント中は、プリンターの操作画面に処理中の動作を 以下のように表示します。



プリント位置を調整する (PRINT OFFSET)

UPC-X46 シリーズ使用時は、プリント画像がプリント ペーパーの正しい位置にプリントされるように 0.5 mm 単 位で調整することができます。



- 1 プリンターの電源を入れる。
- **2** MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▲または▼を押して操作画面に PRINT SETTING [>>] を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。

PRINT OFFSET 画面が表示されます。

- 5 コントロールボタンの◀または▶を押してオフセット 値を選択する。
- **6** EXEC ボタンを押す。

手順**5**で選択したオフセット値が確定し、PRINT SETTING 画面に戻ります。

プリントを実行して正しい位置にプリントされるか確認 し、さらに調整が必要な場合は、上の操作を繰り返しま す。

◆ プリントの実行については、「今撮影したばかりの画像をプリ ントする(オートレビューからプリント)」(28ページ)をご 覧ください。

プリント位置調整を終了するには

MENU ボタンを押し、Ready 画面に戻します。

ご注意

調整が終了したら、必ず MENU ボタンを押して Ready 画 面に戻してください。Ready 画面に戻っていないと、次 回プリント実行時にカメラの液晶画面に「プリンターを 確認してください」が表示され、プリントできません。

Bluetooth 機能の設定

Bluetooth 機能について

Bluetooth¹⁾機能とは、一般的にコンピューターとその周 辺機器、携帯情報端末(PDA)、携帯電話など、様々な機 器同士を無線で接続し、相互の通信を可能にする技術の 名前です。

全方向性通信を行うため、Bluetooth 機能搭載機器がカバンの中にあったり、機器間に多少の障害物が有る場合でも通信が可能です。また、Bluetooth 通信技術は、ワイヤレス通信による簡便さにくわえ、周波数をランダムに切り換えたり、データを暗号化して送受信するなど、高度なセキュリティ性を有しています。

- 本システムの Bluetooth 機能をご使用になるときは、接続相手の機器から見通しのよいところで最大約 10 m 以内に設置してください。
- Bluetooth^{*}トレードマークは、その商標権利者が所有しており、 ソニーはライセンスに基づき使用しています。なお本文中では、トレー ドマークは明記していません。

[Basic Imaging Profile] について

「Basic Imaging Profile」(BIP) は、種々の機能同士で Bluetooth を使って静止画を簡単に交換するための仕様で す。

BIP の代表的な機能として、画像の送受信やデジタルスチ ルカメラのリモートシャッターとして利用できる機能な どがあります。

本機と Bluetooth 搭載機器を接続して使用するには、その 機器が「BIP」の「画像送信機能」(Image Push Feature) に対応している必要があります。

お使いになる前に相手機器の Bluetooth および「Basic Imaging Profile」の仕様をご確認ください。

Bluetooth アドレスについて

Bluetooth 機器には数字 $(0 \sim 9)$ とアルファベット (A \sim F) からなる 12桁のコードが付いています。これは各機器に固有のコードで Bluetooth アドレスまたは Bluetooth ID と呼びます。Bluetooth アドレスは各機器を 1 台ずつ区別するためのコードで、同じコードが複数の 機器に付けられることはなく、書き換えることもできま せん。

パスキー認証について

Bluetooth 接続には、接続相手先を確認する認証機能があ ります。

Bluetooth 機能搭載機器同士がはじめて通信するときは、 お互いに接続を許可するために、それぞれ同一の英数文 字(パスキー)を入力する必要がある場合があります。 UPX-C300 では4桁の数字をパスキーとして設定します。 同一のパスキーを設定したら、接続の認証動作を行いま す。

Bluetooth 機能の中には相手機器で認証有効期限が切れた ときや履歴などを削除したとき、またセキュリティの設 定を変更したときは、あらためてパスキー入力が必要に なる場合があります。

機器によっては毎回パスキー入力が必要な場合もありま す。

UPX-C300 ではいったん認証が完了したら、相手の機器は 「履歴」という形で登録されるので、次回から認証の必要 なく接続が可能です。このため、パスキーを変更する場 合は、相手プリンターの接続履歴を削除してから再度登 録して、認証をやり直します。

パスキーは「Passkey」や「Bluetooth Passkey」などと表 現される場合もあります。また、「PIN」も同様の意味で 使用されます。

パスキーの設定を変更するには

パスキーは必要に応じて変更することができます。 UPX-C300 および増設用プリンター UP-DX100 には、工 場出荷時にすべての機器に同じパスキーが設定されてい ます。通信のセキュリティーをあげるため、お使いのシ ステムのパスキーを変更することをおすすめします。

◆ 詳細は、「パスキーを設定する」(60 ページ)をご覧くださ い。

Bluetooth 接続

UPX-C300 では、プリンターとカメラの電源を入れるとカ メラが自動的にプリンターを探して接続できるように、 工場出荷時に設定されています。次の手順で電源を入れ てください。



1 プリンターの電源を入れる。

操作画面に Ready BT RSSI [----] が表示されるのを確 認する。

2 カメラのオン/スタンバイスイッチを1(オン)にする。

カメラがプリンターを探し始め、液晶画面に「探索 中」が表示されます。接続が成功すると、表示が 「探索成功」に変わり、接続したプリンターのプリン ター名と Bluetooth アドレスが黒く表示されます。

探索を中断するには

「探索中」が表示されている間にカメラの MENU ボタン を押します。「探索取消中」が表示され、探索が中断され ます。複数のプリンターが接続されている場合、以降の 探索も中止します。

接続に失敗すると

カメラの液晶表示に「探索失敗」が表示され、プリン ター名と Bluetooth アドレスはグレー表示のままになりま す。接続に失敗しても、撮影や再生は実行できます。 接続に失敗した場合、次の内容を確認してから PRINT ボ タンを押すと、「プリンターと再接続中…」が表示されて 再接続を実行します。

- プリンターの電源が入っている。
- カメラとプリンターのBluetoothモジュールがONになっている。
- 通信障害がない。
- ◆ 複数のプリンターを接続して使用するときは、「複数のプリン ターの操作」(66ページ)も併せてご覧ください。

カメラの Bluetooth 機能の接続状態 を確認する

- 1 セットアップメニューを表示する。
 - ◆ 表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

Bluetooth メニュー画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して [プロパティ]を選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

カメラの Bluetooth 情報が表示されます。 コントロールボタンの▲または▼を押してプリン ターリストをスクロールできます。



ENTER ボタンを押すと、Bluetooth メニュー画面に 戻ります。

プリンターの Bluetooth アドレスを 確認する



- プリンターの電源を入れる。
- **2** MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▼を押して Bluetooth SETTING [>>]を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。

Bluetooth アドレスが表示されます。

MENU ボタンを押すと Ready 画面に戻ります。

パスキーを設定する

工場出荷時にはすべてのカメラとプリンターには同じパ スキーが設定されています。変更が必要な場合は、次の 手順で新しいパスキーを設定することができます。 カメラとプリンターに新しいパスキーを設定したら、そ のプリンターの登録を削除して、登録をやり直すことで、 新しいパスキーでの認証が有効となります。

◆ 登録の削除については「プリンターを削除する」(65ページ) を、登録については「プリンターを追加/登録する」(63 ページ)をご覧ください。

カメラのパスキーを設定するには

- 1 セットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

Bluetooth メニュー画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して[パスキー 変更]を選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。
 - [パスキー変更] 画面が表示されます。



- 6 コントロールボタンの◀または▶を押して値を設定したい桁を選択する。
- 7 コントロールボタンの▲または▼を押して値を設定する。

0~9の値を設定することができます。

手順6、7を繰り返して、4桁のパスキーを設定します。

- 8 コントロールボタンの▶を押して [実行] を選択する。
- **9** ENTER ボタンを押す。

新しいパスキーが設定され、Bluetooth メニュー画面 に戻ります。

パスキーの設定を取り消すには

手順8で[実行]の代わりに[キャンセル]を選択し、 ENTER ボタンを押します。

プリンターのパスキーを設定するには

プリンターの電源を入れる。

Ready BT RSSI [----] が操作画面に表示されます。

- **2** MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▼を押し、Bluetooth SETTING [>>]を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。

Bluetooth ADDR が表示されます。

- 5 コントロールボタンの▼を押し、PASSKEY INPUT [>>]を表示させる。
- **6** コントロールボタンの▶を押す。

PASSKEY INPUT <u><1> [X : X : X : X</u>] が表示されま す。 (<1>:パスキーの桁番号、[X : X : X : X]:パス キー)

7 コントロールボタンの◀または▶を押し、パスキーを 設定する桁を選択する。

<1> は左端、<4> は右端の桁をあらわします。

8 コントロールボタンの▲または▼を押し、パスキーの 数値を設定する。

0~9を設定することができます。

手順7、8を繰り返し、4桁のパスキーを設定しま す。

9 EXEC ボタンを押す。

PASSKEY INPUT Saving ... が表示され、設定した パスキーが保存されます。

10 設定が終了したら MENU ボタンを押す。

モジュール電源を設定する

Bluetooth 機能を使ってカメラとプリンターを接続するに は、Bluetooth モジュール電源が ON に設定されているこ とが必要です。OFF になっていると機器間の接続ができ なくなります。

カメラのモジュール電源の設定を変更する には

- ▲ セットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

Bluetooth メニュー画面が表示されます。

- 4 コントロールボタンの▲または▼を押して [Bluetooth:オン](または [Bluetooth:オフ])を 選択する。
- **5** ENTER ボタンを押す。

[オン/オフ設定] 画面が表示されます。

6 [オン] または [オフ] が選択されているのを確認し て、ENTER ボタンを押す。

Bluetooth メニュー画面に戻ります。

カメラのモジュール電源がオンのときは、液晶画面の左 上、電源アイコンの右隣りに⁽²⁾ (Bluetooth アイコン)が 表示されます。

プリンターのモジュール電源の設定を変更 するには

- **1** プリンターの電源を入れる。
- **2** MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▼を押して Bluetooth SETTING [>>]を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。

Bluetooth ADDR が表示されます。

- 5 コントロールボタンの▼を押してMODULE POWER [>>]を表示させる。
- **6** コントロールボタンの▶を押す。
- 7 コントロールボタンの ◀ または ▶ を押して、ON また は OFF を選択する。
- **8** EXEC ボタンを押す。

プリンターのモジュール電源を ON から OFF に変更する と、Bluetooth ランプが消灯し、操作画面の表示が Ready になります。カメラはこのプリンターを、プリンター名 と Bluetooth アドレスがグレー表示のプリンターと同じ扱 いにします。 プリンターのモジュール電源を OFF から ON に変更する と、操作画面に REBOOTING が表示されてからプリン ターが再起動します。再起動後、Bluetooth ランプが点灯 し、操作画面の表示が Ready BT RSSI [---] になります。 カメラと接続するには、カメラの PRINT ボタンを押し、 再接続を行います。

プリンターに番号を付ける

ひとつのシステムで2台以上のプリンターを使用する場合、各プリンターに1~9のデバイス番号を付けると便利です。

1 プリンターの電源を入れる。

Ready BT RSSI [----] が操作画面に表示されます。

- **2** MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▼を押し、Bluetooth SETTING [>>]を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。
- 5 コントロールボタンの▼を押し、MY DEVICE NAME [>>]を表示させる。
- 6 コントロールボタンの▶を押す。

Sony UP-DX100 [NONE-9: EXEC] が表示されます。

- 7 コントロールボタンの▲または▼を押し、デバイス番号を設定する。
- **8** EXEC ボタンを押す。

DEVICE NAME Saving ... が表示され、設定したデ バイス名が保存されます。

9 設定が終了したら MENU ボタンを押す。

プリンターの接続履歴を確認する

- **1** プリンターの電源を入れる。
- **2** MENU ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの▼を押して Bluetooth SETTING [>>] を表示させる。
- 4 コントロールボタンの▶を押す。

Bluetooth ADDR が表示されます。

- 5 コントロールボタンの▼を押して CONNECTION RECORD [>>] を表示させる。
- **6** コントロールボタンの ▶ を押す。

現在プリンターとの接続が設定されている機器の名称と Bluetooth アドレスが表示されます。 コントロールボタンの▲または▼を押して画面をスクロールし、他の機器の情報を確認することができます。

EXEC ボタンを押すと CONNECTION RECORD [>>] 表 示に戻ります。 MENU ボタンを押すと、Ready 画面に戻ります。

プリンターを追加/登録する

UPX-C300 は Bluetooth 接続機能を使って、最大3台のプ リンターを使用することができます。プリンターの追加 は、カメラのセットアップメニューを使って行います。 プリンターを追加するときは、あらかじめカメラのパス キーと同じパスキーをプリンターに設定しておいてくだ さい。

カメラの起動時に [プリンター未登録] と表示されると きも、この手順でプリンターを登録してください。

◆ パスキーの設定については、「パスキーを設定する」(60ページ)をご覧ください。



- 1 追加登録するプリンターの電源を入れる。
- 2 カメラのセットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 3 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- **4** ENTER ボタンを押す。

Bluetooth メニュー画面が表示されます。

- 5 コントロールボタンの▲または▼を押して [プリン ター追加]を選択する。
- **6** ENTER ボタンを押す。

[プリンター追加] 画面が表示されます。



接続リストに空がある場合は以下の手順でプリン ターを追加します。

プリンターがすでに3台接続されている場合は、不 要なプリンターを削除する必要があります。

- ◆ プリンターを削除するには、「プリンターを削除する」 (65ページ)をご覧ください。
- 7 コントロールボタンの ◀を押して [探索] を選択し、 ENTER ボタンを押す。

「新しいプリンターを探索中…」が表示されます。 探索が終了すると、見つかったプリンターの名前と Bluetooth アドレスが黒く表示されます。 プリンターの探索は最大 60 秒かかることがありま す。



- 8 コントロールボタンの▲または▼を押して、追加した いプリンターを選択する。
- 9 コントロールボタンの ◀ または ▶ を押して、[追加] を選択し、ENTER ボタンを押す。

選択したプリンターとの接続認証中は時計のアニ メーションの画面になります。



接続認証が終ると、追加したプリンターが表示され ます。

画面中央には大きな RSSI (Received Signal Strength Indicator、電波強度表示)が表示されます。カメラ とプリンターの設置の目安としてください。

- : 電波状態は良好です。
- : 電波が弱いため、転送に時間がかかる場合 があります。

- Bluetooth	
🕒 プリンター追加終了	
1. Sony UP-DX100 アドレス 00:A0:96:12:24:E1	
a	
了解 ●ENTER	

10 ENTER ボタンを押す。

[登録プリンターリスト] 画面に戻ります。



他にも候補プリンターがある場合は、[候補プリン ターリスト] 画面に戻ります。 Bluetooth メニュー画面に戻ります。

プリンターの追加/登録を中止するには

次の2つの方法があります。

- 手順7で「新しいプリンターを探索中…」が表示されている間にENTERボタンを押します。検索を中止してBluetoothメニュー画面に戻ります。
- 手順9で[追加]の代わりに[キャンセル]を選択し、
 ENTERボタンを押します。追加/登録は中止されます。

プリンターが追加/登録できないときは

次のような場合は、プリンターを追加/登録することが できません。

- すでに3台のプリンターを使用している。
 →不要なプリンターを削除してください。
- プリンターのパスキーがカメラのパスキーと違う。
 →カメラと同じパスキーを設定してください。

プリンターのバージョンアップを要求する メッセージが表示されたときは

本システムの使用中に、プリンターのファームウェアの バージョンアップを要求するメッセージがカメラの液晶 画面に表示されることがあります。この場合は、お買い 上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

プリンターを削除する

- 1 カメラのセットアップメニューを表示する。
 - ◆表示する方法については、「セットアップメニューを表示する」(34ページ)をご覧ください。
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して Bluetooth を選択する。
- **3** ENTER ボタンを押す。

Bluetooth メニュー画面が表示されます。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して [プリン ター削除]を選択する。

[プリンター削除] 画面が表示されます。

- 5 コントロールボタンの▲または▼を押して削除したい プリンターを選択する。
- 6 コントロールボタンの ◀または ▶ を押して [削除] を 選択する。
- **7** ENTER ボタンを押す。

手順**5**で選択したプリンターが削除され、プリン ター名と Bluetooth アドレスの表示が消えます。

8 ENTER ボタンをもう一度押す。

Bluetooth メニュー画面に戻ります。

削除を中止するには

手順6で[削除]の代わりに[キャンセル]を選択して ENTER ボタンを押します。プリンターの削除を中止して Bluetooth メニュー画面に戻ります。

複数のプリンターの操作

複数のプリンターを使ったシステムでも、基本的な操作 の方法はプリンターが1台の場合と同じです。プリン ターの電源を入れた後にカメラの電源を入れると、自動 的に登録されているプリンターを探し、接続に成功した プリンターはプリンター名と Bluetooth アドレスの表示が 黒く変わります。接続に失敗したプリンターは灰色表示 になります。

使用するプリンターは PRINTER ボタンで選択します。 接続されているプリンターを選択すると、液晶画面にプ リント条件を白で表示します。接続されていないプリン ターの場合は黄色で注意が表示されます。

接続されていないプリンターと接続するにはまずそのプ リンターに電源が入っていて、Bluetooth ランプが点灯し ていることを確認してください。また、カメラの PRINTER ボタンを押して、接続するプリンターの名前が 黄色で表示されることを確認してください。ここまでを 確認してからカメラの PRINT ボタンを押します。「プリ ンターと再接続中 ...」画面が表示され、再接続を行いま す。再接続が成功すると、撮影モードの場合は通常の撮 影状態に戻ります。再生またはオートレビューモードで はプリントプレビュー画面になります。

プリントする場合、再度 PRINT ボタンを押すとデータの 転送を始めます。

プリントしない場合、MENU ボタンを押してプリントプ レビュー画面を消します。

ご注意

予約プリント実行時は、複数のプリンターを接続してい ても1台のプリンターでのみプリントが行われます。

本システムの性能を保持 するために

本システムの性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「警告」(6ページ)、「注意」(7ページ)、「電池 についての安全上のご注意」(9ページ)と併せてご覧く ださい。

カメラ

使用・保存場所

次のような場所での使用および保管は故障の原因となり ますので、避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所(動作温度は5℃~35℃)
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 湿気、ほこりの多い所
- 雨のあたる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

放熱

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上 がり、故障の原因となります。

輸送

輸送するときは、付属のカートンとクッション、または 同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてくださ い。

試し撮りについて

必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影されていることを 確認してください。

レンズ

撮影時は、レンズをぶつけたり押さえつけたりしないよ うご注意ください。 また、レンズ面に触れないでください。

プリンター

使用するときのご注意

- 長い間ご使用にならないときは、プリンターをスタンバ イモードにし、電源コードをコンセントから抜いてくだ さい。
- プリンターを輸送する際は、付属品を取りはずしてください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯 気や湿気がたち込めた部屋に置くと、プリンターの内部 に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。 この状態でプリンターを使用すると、正常に動かないば かりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあ るときは、プリンターの電源を切り、しばらくそのまま 放置しておいてください。

お手入れ

- お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いて ください。
- カメラのレンズの表面に付着したごみやほこりは、ブロ アーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽くふき取ってく ださい。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ま せた布で汚れをふき取った後、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性の ものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消 えたりすることがあります。

主な仕様

カメラ

一般

電源	AC パワーアダプターまたはソニー NH-
	AA 単3形ニッケル水素充電池(最
	大 2700 mAh)より供給(DC 5.0 V)
入力電流	最大 1.65 A(AC パワーアダプター使用
	時)
動作温度	$5 ^\circ \text{C} \sim 35 ^\circ \text{C}$
保存温度	-20 °C $\sim +60$ °C
動作湿度	20%~80%(非結露)
最大外形寸法	222 × 194 × 102 mm(幅/高さ/奥行
	き)
質量	約 900 g

システム

形式	デジタルスチルカメラ
記録・再生方式	フレームデジタル記録再生
データ圧縮伸長力	方式
	JPEG ベースライン方式によるデータ圧
	縮、伸長方式
記録媒体	内蔵 64 MB フラッシュメモリー
映像素子	1/2.5 インチ 8M CCD 固体撮像素子
記録解像度	HIGH (超高解像度): 3264 × 2448 ピク セル
	STD (標準解像度): 1632 × 1224 ピク
記録权数	超局解像度:30 权以上
	標準解像度:120枚以上
ソニー NH-AA 単	3 ポニッケル水素允電池
	(Typ. 2000 mAh, Min. 1900 mAh)
	使用時の記録可能权数
	ト記の条件トで約40枚
	- 温度:25℃
	- 撮影条件:1) 電源投入後、W、T、W
	の順にズーム操作し、2) フラッシュ
	使用のもとで2枚記録し、3) 画像を1
	枚プリントし、4) Auto Power OFF
	の設定に従って 10 分後にパワーセー
	ブモードに移行。.
	記録可能枚数は、実際の撮影環境の温度
	や撮影条件によって異なります。
削除方式	1コマ削除、一括削除
ホワイトバランス	ζ
	プログラム、One Push、3000K ~

7000K(500K 単位)

シャッター $1/2 \sim 1/1000$ 秒

感度	ISO 200 相当(P \$、0EV)
液晶モニター	3.0 インチ低温ポリシリコン TFT カ
	ラー液晶
	液晶画面画素数:約 230,000 画素
レンズ	f=12.5 \sim 25.0 mm、2 倍(35 mm フィル
	ムカメラ用レンズ 75 ~ 150 mm に相
	当)、自動焦点
	F 値 (開放): F4.7 (W 端) ~ F5.5 (T
	端)

外部端子

DC IN 5.0 V 端子 DC 5.0 V FLASH(フラッシュ)端子 X 同調

プリンター

電源	AC 100 \sim 240 V, 50/60 Hz
入力電流	最大 1.1 A(プリント時)
動作温度	$5\ \mathrm{C} \sim 35\ \mathrm{C}$
保管/輸送時温度	度
	-20 °C $\sim +60$ °C
動作湿度	20%~80%(非結露)
最大外形寸法	約 203 × 85 × 305 mm
	(幅/高さ/奥行き)
質量	約 2.7 kg(本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型(イエロー、マゼンタ、シ
	アン、ラミネート)
プリント解像度	403×403 dpi
サーマルヘッド	403 ドット/インチ
プリント階調	各色8ビット処理(イエロー、マゼン
	タ、シアン)
プリント時間	UPC-X46 シリーズ:約 100 秒/ 1 枚
	UPC-X34 シリーズ:約 65 秒/ 1 枚
給紙方法	ペーパートレイからの自動給紙
最大給紙枚数	UPC-X46 シリーズ:25 枚
	UPC-X34 シリーズ:30 枚
排紙方法	正面排紙(ペーパートレイ上)
最大プリント枚数	汝
	UPC-X46 シリーズ:25 枚
	UPC-X34 シリーズ:30 枚
入力	AC IN(電源入力)
最大プリントサイ	イズ
	UPC-X46 シリーズ:101.6 × 151.4 mm
	(ふち無し)
	UPC-X34 シリーズ:70.1 × 95.3 mm
	(ふち有り)
プリント画素数	UPC-X46 シリーズ:1664 × 2440 ドット
	UPC-X34 シリーズ:1112 × 1512 ドット

Bluetooth

通信方式(カメラ)

Bluetooth 標準規格 Ver. 2.0

通信方式(プリンター)

Bluetooth 標準規格 Ver. 1.1

- 最大通信速度¹⁾約723 kbps
- 出力 Bluetooth 標準規格 Power Class 2

通信距離²⁾ 見通し距離約 10 m

対応 Bluetooth プロファイル³⁾

Basic Imaging Profile (Image Push Feature)

使用周波数带 2.4 GHz 带 (2.400 GHz ~ 2.4835 GHz)

- Bluetooth 標準規格 Ver. 1.1 の最大データ通信速度。通信機器間の距離 や障害物、電波状況、使用するソフトウェア、OS などにより変化しま す。
- 2) 通信機器間の距離や障害物や電波状況、使用するソフトウェア、OS な どにより変化します。
- Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth標準規格で定められています。

AC パワーアダプター

電源	AC 100 ~ 240 V, 50/60 Hz
入力電流	0.26 A
出力	動作時:DC 5.0 V、2.0 A
動作温度	$5 \text{ C} \sim 35 \text{ C}$
保存温度	-20 °C $\sim +60$ °C
最大外形寸法	約 69 × 26 × 50 mm(幅/高さ/奥行
	き)(突起部を含む)
質量	約 170 g

付属品

UPC-X46 シリーズ用ペーパートレイ (1) UPC-X34 シリーズ用ペーパートレイ (1) トレイカバー (1) 電源コード (2) ACパワーアダプター UPA-AC05 (1) クリーニングカセット (1) 保証書 (1) 取扱説明書 (一式) クイックリファレンス (1)

別売りアクセサリー

デジタルフォトプリンター UP-DX100 ラミネートプリントパック 10UPC-X46 シリーズ(250 枚) ラミネートプリントパック 10UPC-X34 シリーズ(300 枚)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する ことがありますが、ご了承ください。 お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本 機や付属のソフトウエア、記録メディア、外部ストレー ジなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作 しなかった場合のプリント結果や記録データの補償につ いては、ご容赦ください。 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中およ び保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねます のでご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。こ の装置は、家庭環境で使用することを目的としています が、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して 使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品」です。

警告

本機は電源スイッチを備えていません。 設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用 遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、 機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。 万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電 源プラグを抜いてください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険がありま す。 使用済の電池は、説明書に従って処理してください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、これらの項目をお調べください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、 またはお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

カメラ

症状	原因/処置
オン/スタンバイ スイッチを (ス タンバイ) にして もスタンバイモー ドに切り換わらな い。	 カメラの内部処理に非常に時間がかかっている。 →しばらく待って、それでもスタンバイモードに切り換わらないときは電源コードを抜くか、電池を抜く。
カメラの電源を入 れてもプリンター と接続しない。	 プリンターの電源が入っていない。 → プリンターの電源を先に入れてから、 カメラの電源を入れる。 カメラかプリンターの Bluetooth が OFF になっている。 → 両方の Bluetooth を ON にする。(「モ ジュール電源を設定する」(61 ペー ジ)参照) 「プリンター未登録」と表示される。 → プリンターの登録が消えているので、 登録する。(「プリンターを追加/登 録する」(63 ページ)参照)
スタンバイランプ が赤になり操作で きない。	→ カメラの故障です。お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

撮影

レリーズボタンを 押しても撮影がで きない。	 モードスイッチが ■ になっていない。 → モードスイッチを ■ にする。 画像記録中、またはフラッシュの充電中 (スタンバイランプがオレンジに高速点
•	 滅)。 → スタンバイランプがオレンジの点灯 になるまで待ってから撮影する。 撮影可能枚数いっぱいに撮影している (スタンバイランプがオレンジに点滅)。 → 撮影可能枚数を確認し、不要な画像 を消去してから撮影する。 → [オート消去]の設定を [オン] にす

症状	原因/処置
フラッシュが光ら	 フラッシュモードの設定が正しくない。
ない。	→ メニュー操作で、[フラッシュモー
	ド]を P\$ または M\$ に設定する。(「フ
	ラッシュモードを選択する」(40
	ページ)参照)
	• 外部フラッシュが正しく光らない。
	→[フラッシュモード] を P \$または
	₩に設定する。(「フラッシュモード
	を選択する」(40 ページ)参照)
	• 電池が消耗している。
	→ AC 電源に接続するか、充分に充電さ
	れた電池と交換する。
	 フラッシュの寿命が切れている。
	→ お買い上げ店、またはソニーのサー
	ビス窓口にご相談ください。

カメラの液晶画面

症状	原因/ 処置
寒い所で使用する	• 液晶の性質による現象。
と、画像が尾を引	→ 故障ではありません。
いて見えることが	
ある。	
赤、青、緑などの	
輝点が点灯したま	
まになることや、	
小さな黒点が見え	
ることがある。	
レイアウトプレ	 プリンターがプリント動作中です。
ビューの画面中央	→ プリントが終了するのを待ってやり
にプリンターの絵	直す。
が表示され、プリ	
ント操作できない。	
データの転送が終	 プリンターが給紙中です。
了したがしばらく	→ 給紙が終わってプリントが始まると、
画面が止まってい	画像が切り換わります。
る。	

プリント操作

症状	原因/処置
PRINT ボタンを押	• 撮影画面になっている。
してもプリントし	→ オートレビューまたは再生モードで
ない。	のみプリントできます。
	• 予約プリントがオンになっている。
	→ 予約プリントでプリントするか、予
	約プリントを解除する。(「予約プリ
	ント機能を使用する」(43 ページ)
	参照)

撮影画像

症状	原因/処置
画像がぼけている。	 ピントが合っていない。
	→ レンズと被写体の距離を調べ、
	ピントの合う範囲に被写体を置
	<u> < ،</u>
	 レリーズボタンを押すときにカメラ
	が動いた。
	→カメラを正しく構え、レリーズ
	ボタンを静かに押す。
	 [フラッシュモード]の設定が₩ま
	たはMSで、シャッター速度が遅す
	ぎた。
	→ 適した撮影条件に設定し直す。
	(「フラッシュモードの設定パラ
	メーター」(13 ページ)参照)
	 レンズが汚れている。
	→ 乾いた柔らかいきれいな布など
	でレンズの汚れをふきとる。
画像が暗い。	 フラッシュを指などで覆っていた。
	→カメラを正しく構え、フラッ
	シュに指がかからないようにす
	る。
	• 被写体が遠くにあった。
	→ フラッシュ撮影可能範囲内で撮
	影する。
	→ 露出を補正する。
	 逆光で撮影した。
	→ フラッシュで撮影する。
室内で撮影した画像の	• 照明の影響を受けている。
色がおかしい。	→ ホワイトバランスを正しく設定
	する。(「ホワイトバランスを調
	整する」(41 ページ)参照)
画像の一部が欠けてい	 レンズに指などがかかっていた。
る。	→カメラを正しく構え、レンズに
	指などがかからないようにする。

プリンター

症状	原因/処置
電源が入らない。	• 電源コードが正しく接続されていない。
	→ 電源コードをAC電源に正しく接続し
	てください。
プリントできない。	• 正しい組み合わせのプリントペーパーと
	プリントカートリッジが入っていない。
	→ 専用のプリントペーパーとプリント
	カートリッジを、正しい組み合わせ
	でご使用ください。
	 プリンター内部の温度が上がりすぎて、
	操作画面に Waiting と表示されている。
	→ プリンター内部の温度が上がりすぎ
	た場合、一時的にブリントできない
	ことがあります。プリントが目動的
	に再開するまでお待ちくたさい。
	• $\int \int \int \nabla F (x - x) - x = x = x = x = x = x = x = x = x = x$
	$ \rightarrow 0 \sharp \circ (\forall \circ \land \neg \neg \neg \circ \forall \lor \lor \land \land \neg \neg \circ \forall \circ \land \neg \circ \land \land \circ \land$
	$({\bf b})$ 1 反 $({\bf b})$ い $({\bf b})$ 1 反 $({\bf b})$ い $({\bf b})$ (${\bf b}$) (${\bf b}$) (${\bf c}$) (${\bf c}$) (${\bf c}$)
	ページ) 参昭)
プリントカート	→ プリント由けプリントカートリッジけ
リッジが取り出せ	取り出せません。プリントが終了する
ない。	までお待ちください。それでも取り出
	せないときは、ソニーのサービス窓口
	にご連絡ください。
プリントに白いス	 サーマルヘッドにごみが付着している場
ジや傷が入る。	合がある。
	→ 付属のクリーニングカセットでク
	リーニングをしてみてください。
	(「プリンター内部のクリーニング」
	(72 ページ)参照)
	 プリンター内部のローラーでプリント
	ペーパーに傷が付く場合がある。
	→ペーパートレイに入れる枚数を減ら
	してこ使用くたさい。
ビビ」と鳴って動	→ 受け付けられない操作をした場合、「ビ
作しない。	ヒ」と音がします。
ALARM ランプが	→ 画面の指示に従って対処してください。
点灯または点滅し	
(エフーメッセージが主ティカフ	
ン까衣示される。	

つまった紙を取り除く

プリント動作中に紙づまりが起きたときは、ALARM ラ ンプが点灯し、エラーメッセージが表示されてプリント が停止します。

次の手順でつまった紙を取り除いてください。

- 【 プリンターの ボタンを押し、スタンバイモードに する。
- **2** ペーパートレイをはずしてつまった紙を取り除く。
- 3 後面の紙づまり除去カバーをはずし、紙づまりがな いかチェックし、ある場合はとり除く。



- 4 紙づまり除去カバーを元に戻す。
- 5 ペーパートレイを取り付ける。
- **6** プリンターの電源を入れる。

ご注意

つまったプリントペーパーが取り出せない場合は、お買 い上げ店、またはお近くのソニーのサービス窓口にご連 絡ください。

プリンター内部のクリーニング

プリント上に白いスジや点状の傷が入るようになった場 合は、付属のクリーニングカセットと、プリントパック に付いている保護シートを使ってクリーニングしてくだ さい。



ご注意

- 印刷結果に白いスジや点状の傷が現れたときのみクリーニングを行ってください。
- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを 行っても、プリントの質が向上することはありません。
- プリンターからペーパートレイを抜き、トレイ内の プリントペーパーを取り除く。



2 保護シートを、印刷がない面を上にして、ペーパー トレイ底面の矢印と保護シートの印刷面の矢印が同 じ向きになるようにトレイに入れてから、ペーパー トレイをプリンターに差し込む。



 プリントカートリッジカバーを開け、プリントカー トリッジを抜く。



4 付属のクリーニングカセットを装着し、プリント カートリッジカバーを閉める。



5 EXEC ボタンを押す。



ブザーが鳴って、HEAD CLEANING/PUSH [EXEC] が表示されます。

6 再度 EXEC ボタンを押す。



クリーニングカセットと保護シートがプリンターの 内部をクリーニングします。クリーニングが終わる と、保護シートが自動的に排紙されます。



7 プリンターからクリーニングカセットを抜き、プリントカートリッジとペーパートレイを元に戻す。
エラーメッセージ

カメラ	プリンター	原因/処置
「リボンと用紙を正しく	SET NEW RIBBON	 プリントカートリッジが正しく装着されていない。
セットしてください。」	PUSH [EXEC]	→ プリントカートリッジを正しく装着して、EXEC ボタンを押す。
		• プリントカートリッジが終了した。
		→ プリントカートリッジを交換して、EXEC ボタンを押す。
	SET PAPER	 ペーパートレイが装着されていない。
	PUSH [EXEC]	→ ペーパートレイを装着して、EXEC ボタンを押す。
		• プリントペーパーが終了した。
		→ プリントペーパーを入れて、EXEC ボタンを押す。
「プリンターを確認してく	MEDIA MISMATCH	 プリントペーパーとプリントカートリッジの組み合わせが間違っている。
ださい。」	PUSH [EXEC]	→ 正しいプリントペーパーを入れて、EXEC ボタンを押す。
	PAPER JAMMING	 プリントペーパーがつまっている。
	REMOVE PRINTS	→ つまっているペーパーを取り除き、もう一度プリントする。(「つまった紙
		を取り除く」(71 ページ)参照)
	REMOVE PRINTS	• 排紙口にプリントペーパーが残っている。
	PUSH [EXEC]	→ ペーパートレイをはずしてプリントペーパーを取り除き、EXEC ボタンを
		押す。
	BLUETOOTH ERROR	 Bluetooth 機能の故障。
	SERVICE CALL	→ お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
	PRINTER ERROR	 プリンターのエラーが発生した。
	PLEASE RETRY	→ もう一度プリントし直してください。
	PRINTER ERROR	 プリンターの故障。
	SERVICE CALL	→ お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
	—	• プリンターの操作画面にメニューが表示されている。
		→ メニュー操作を終了し、Ready 画面を表示させる。
	—	 プリンターと正しく接続されていない。
		→カメラとプリンターの電源を入れ直してもう一度やり直す。
「転送に失敗しました。」	—	 プリントデータの転送に失敗した。
		→ カメラとプリンターの電源を入れ直してもう一度やり直す。

上記のカメラのエラーメッセージは、処置を行ったあと自動で消える場合と消えない場合があります。処置を行っても消え ない場合には、MENUボタンを押して消してください。 付録

プリントレイアウト一覧

UPC-X46 シリーズ使用時のレイアウト例



ガイドプリント



プリンターの画質調整時に便利です。

UPC-X34 シリーズ使用時のレイアウト例



ガイドプリント



プリンターの画質調整時に便利です。

索引

数字

50 音順

い

色調整(プリンター)5	色調整
-------------	-----

え

液晶画面	15
液晶画面(カメラ)	
再生時	30
撮影時	27
プリントプレビュー時	28
液晶画面(プリンター)	
プリント処理中	57
エラーメッセージ	73

お

オートパワーセーブ	
オートレビュー	
オート消去	
お手入れ	
オン/スタンバイスイッチ	

か

カートリッジ取り出しレバー	17
解像度	.27, 30, 35
ガイドプリント	74
白黒プリント	
ガイドプリント DLGm	
ガイドプリント RGB	
外部端子カバー	
画質調整	
白黒プリント	
画質調整パラメーター	
画像削除	
画像情報	
画像送信機能	
型抜きプリント	
紙づまり	
紙づまり除去カバー	
カラー調整	

き

記録解像度	39
記録枚数	67

<

国コード	
クリーニング	

け

Z

故障とお考えになる前に	
コマ番号	
コントロールボタン	

さ ^{亜生}

円生	
液晶画面)
再生メニュー33, 36	;
再生モード	5
再プリント)
枚数を設定する)
再プリント	
(プリンターのメモリーから)30)
サウンド(カメラ)49)
削除31	L
1枚ずつ	2
再生中の画像	L
終了する32	2
全部	2
中止する32	2
撮影	;
液晶画面27	7
撮影可能枚数)
撮影環境12	2
撮影環境例とフラッシュモード12	2
撮影した画像を見る30)
撮影条件13, 26, 27	7
工場出荷時	5
撮影メニュー33, 35	5
三脚	L
三脚取り付けネジ穴	1
	•

し

自動消去モード
自動焦点機能14,27
絞り
絞り設定
シャッター
シャッタースピード
シャッター速度41
出荷設定に戻す
準備
カメラ19
プリンター21
仕様
焦点ロック(緑)/アンロック(赤)
マーク

証明写真フレーム	
プリント時に表示するフ	レームを
設定する	
証明写真フレーム選択	
白黒のガイドプリント	
3色のバランスを調整	
白黒プリント	

す

ズーム	
ズームレバー	
ズームバー	
スタンバイモード	25
スタンバイランプ(カメラ)	15

せ

接続	
AC 電源	
設定	
セットアップ	
セットアップメニュー	
全画像削除	36

そ

総画像枚数	
操作音	37
操作音(カメラ)	49
操作画面(カメラ)	
再生時	
撮影時	
プリントプレビュー時	
操作画面(プリンター)	17

つ

追加フレーム	45
つまった紙を取り除くには	

τ

電源	25
電源表示2	7, 30
転送	29
取り消す	29
電池残量表示	20
電池挿入ぶた	16
電池を入れる	20
電波強度表示	64
電波強度の表示	28

と

トラブルシュ・	ーティング	
トレイカバー		

な

内蔵フラッシュ	
発光禁止モード	
フラッシュモー	ヾを
切り換える	

は

バージョン …	
パスキー	
カメラの	パスキーを設定する60
プリンタ	ーのパスキーを
設定す	る
設定を変	更する59
設定する	
パスキー認証	
パラメーター	
Bパラメ	ーター
Dパラメ	ーター53
Gパラメ	ーター53
Gmパラ	メーター
Lパラメ	ーター53
Rパラメ	ーター

ひ

表示言語		37
------	--	----

ßı

ファ	ームウェアのバージョン	50
付属	品	68
フラ	ッシュ	14
フラ	ワッシュモード 12.35	40
	フラッシュモードを	10
	切り換える	40
プリ	ンター	38
	削除する	65
	削除を中止する	65
	進備をする	21
	接続履歴を確認する	63
	追加/登録する	63
	追加/登録できないとき	65
	追加/登録を中止する	65
	番号を付ける	62
	複数のプリンターの操作	66
		~ ~
プリ	シト	00
プリ	ント オートレビューからプリント	28
プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて	28
プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする	28 29
プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている	28 29
プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする	28 29 29
プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから	28 29 29
プリ	 ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする 	28 29 29 30
プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする プリントする	28 29 29 30 28
プリ プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする プリントする ント位置を調整	28 29 29 30 28 58
プリ プリ プリ	 ント オートレビューからプリント … カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする プリントする ント位置を調整 ントカートリッジ 	28 29 29 30 28 58
プリ プリ プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする ント位置を調整	28 29 29 30 28 58 23
プリ プリ プリ	ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする プリントする ント位置を調整 ントカートリッジ 交換する 取り付ける	28 29 29 30 28 58 23 23
プリ プリ プリ プリ	 ント オートレビューからプリント カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする プリントする プリントカートリッジカバー 	28 29 29 30 28 58 23 23 17
プリ ププ ププ リリ	 ント オートレビューからプリント … カメラのメモリーに保存されて いる画像をプリントする 内蔵メモリーに保存されている 画像をプリントする プリンターのメモリーから 再プリントする プリントする プリントする プレトカートリッジ 交換する 取り付ける ントカートリッジカバー ントカートリッジスロット 	28 29 29 30 28 58 23 23 17 17

プリントサイズ
プリントサイズ
(プリントプレビュー)
一覧
プリントサイズ
(プリントレイアウト)選択する74
プリント時間
プリント処理中の画面表示57
プリントパック
プリントプレビュー画面
プリントペーパー
プリント枚数
プリントレイアウト
一覧74
選択する
プリント予約フラグ
プロパティ

\sim

ペーパートレイスロット17

ほ

補色	
ホワイトバランス	
調整する	41

め

メニュー(カメラ)	
各メニューの機能説明	35
再生モード	36
撮影モード	35
セットアップ	
ロックする	51
メモリー	27
画像を削除する	27

も

6
51
51
52
51

予約プリント	43
--------	----

れ

レリーズボタン	14
レンズ	14

3

露出	
手動露出	
補正する	

補正機能	
(撮影時)	
露出補正值	
ロック (メニュー)	

わ

アルファベット順

Α

AC 電源	
カメラ	
プリンター	
AC パワーアダプター	19
ALARM ランプ	17
AUTO FRAME(自動)ボタン	15

В

Basic Imaging Profile (BIP)58
BIP
Bluetooth
Bluetooth 機能
接続状態を確認する60
Bluetooth 接続
接続に失敗する60
Bluetooth SETTING
Bluetooth アドレス
確認する60
Bluetooth ランプ17
Bluetooth 機能
Bluetooth 接続59
С
COPY PRINT
D
DC IN 端子16
E
ENTER ボタン16
EXEC(実行)ボタン17
F
FLASH MODE40
FLASH(フラッシュ)端子16

Μ

Ρ

R

RESET SETTING	37
RGB パラメーター調整	55
RSSI (Received Signal Strength	
Indicator)	54
т	
TOTAL PRINTS	38
U	
USB 端子	18
W	
WB	35

http://www.sony.co.jp/